

実態調査結果報告 (速報値)

目次

1. 市民のニーズ把握	1
(1) 市民アンケート調査.....	1
(2) 公共交通利用者調査.....	16
(3) 高校生アンケート調査.....	27
(4) 交通事業者・関連事業者アンケート調査.....	29

令和4(2022)年 11 月
日向市地域公共交通会議

1. 市民のニーズ把握

(1) 市民アンケート調査

■ 調査概要

対象者	・18歳以上の市民 3,000人（無作為抽出）						
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・属性（居住地、年齢、職業、自動車保有状況、運転免許保有状況及び運転免許返納意向） ・日常生活の移動実態、生活利便施設の利用実態と意識・要望 ・公共交通の利用実態と意識・要望、公共交通の維持・確保の意向 						
調査方法	・郵送による配布・回収（料金受取人払い）、Webによる回答を併用						
調査期間	・令和4（2022）年9月21日（水）～10月3日（月）						
回答数	・N=1,072（回収率 35.7%）※速報値						
内訳	性別	属性	実数	割合	属性	実数	割合
		男性	437	40.8(%)	女性	586	54.7(%)
	年齢	無回答	49	4.6(%)			
		10歳代	6	0.6(%)	20歳代	46	4.3(%)
		30歳代	73	6.8(%)	40歳代	148	13.8(%)
		50歳代	140	13.1(%)	60～64歳	94	8.8(%)
		65～69歳	131	12.2(%)	70歳代	253	23.6(%)
		80歳代以上	169	15.8(%)	無回答	12	1.1(%)
	職業	会社員・公務員	297	27.7(%)	自営業	73	6.8(%)
		農林水産業	16	1.5(%)	学生	11	1.0(%)
		専業主婦（夫）	65	6.1(%)	パート・アルバイト	151	14.1(%)
		無職（年金生活含む）	411	38.3(%)	その他	35	3.3(%)
		無回答	13	1.2(%)			
	小学校区（エリア）	富高小（市街地エリア）	159	14.8(%)	大王谷学園（市街地エリア）	164	15.3(%)
		日知屋小（市街地エリア）	87	8.1(%)	日知屋東小（市街地エリア）	132	12.3(%)
		財光寺小（市街地エリア）	146	13.6(%)	財光寺南小（市街地エリア）	114	10.6(%)
		細島小（市街地エリア）	41	3.8(%)	東郷学園（東郷エリア）	38	3.5(%)
		塩見小（市街地エリア）	41	3.8(%)	坪谷小（東郷エリア）	8	0.7(%)
		平岩小中（南部エリア）	32	3.0(%)	寺迫小（南部エリア）	19	1.8(%)
		美々津小（南部エリア）	33	3.1(%)	無回答	58	5.4(%)

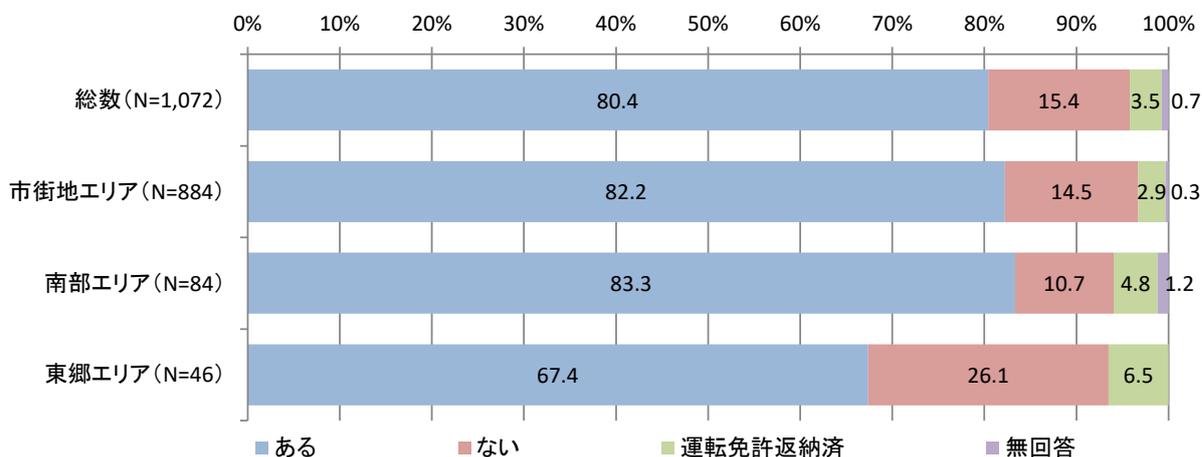
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が100%とならない場合がある。

※南部エリアとは、平岩、幸脇、美々津地区のことを示す。

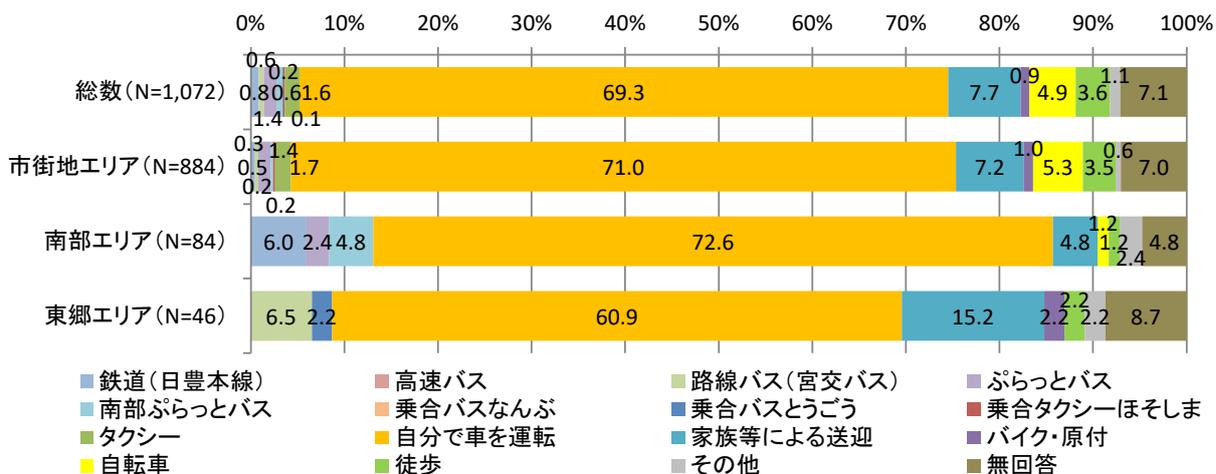
① 自家用車依存

- 運転免許保有率は 80.4%で、「免許なし」「運転免許返納済」をあわせて 18.9%程度となっており、比較的東郷エリアにおいて免許を持っていない方が多い傾向にある。
- 日常の買い物・通院時の移動手段として 6 割程度の方が「自分で車を運転」と回答しており、「家族等による送迎」も含めると 7 割が自家用車による移動となり、自家用車への依存がうかがえる。
- 公共交通の利用率は 5 %程度となっており、比較的南部エリアの方の利用が多い。

■ 運転免許証保有率



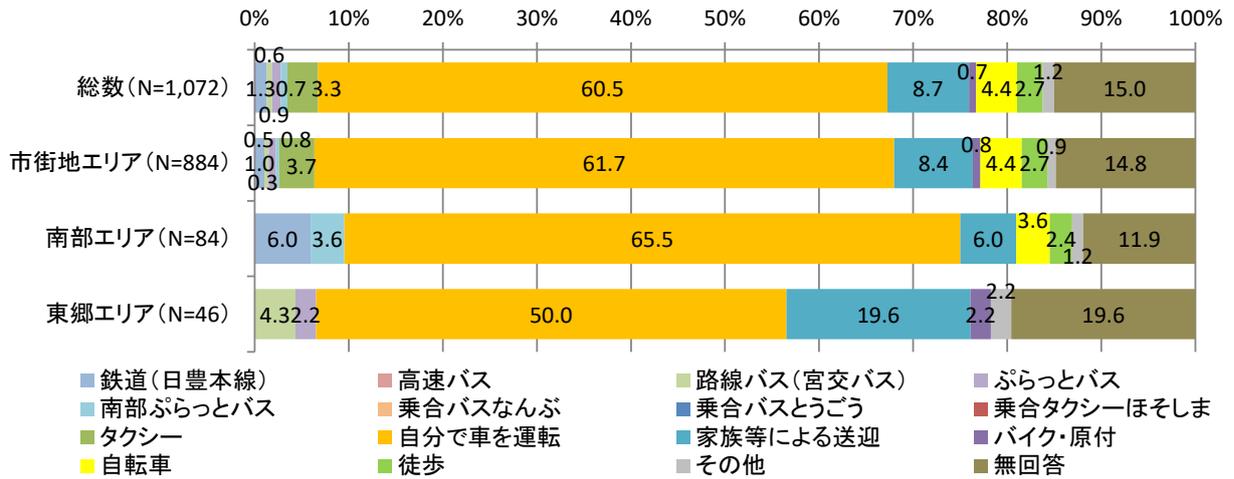
■ 買い物時の主な交通手段



%	鉄道(日豊本線)	高速バス	路線バス(宮交バス)	ぶらっとバス	南部ぶらっとバス	乗合バスなんぶ	乗合バスとうごう	乗合タクシーほそしま
総数	0.8%	0.0%	0.6%	1.4%	0.6%	0.0%	0.1%	0.2%
市街地エリア	0.5%	0.0%	0.3%	1.4%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%
南部エリア	6.0%	0.0%	0.0%	2.4%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
東郷エリア	0.0%	0.0%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%

%	タクシー	自分で車を運転	家族等による送迎	バイク・原付	自転車	徒歩	その他	無回答
総数	1.6%	69.3%	7.7%	0.9%	4.9%	3.6%	1.1%	7.1%
市街地エリア	1.7%	71.0%	7.2%	1.0%	5.3%	3.5%	0.6%	7.0%
南部エリア	0.0%	72.6%	4.8%	0.0%	1.2%	1.2%	2.4%	4.8%
東郷エリア	0.0%	60.9%	15.2%	2.2%	0.0%	2.2%	2.2%	8.7%

■ 通院時の主な交通手段



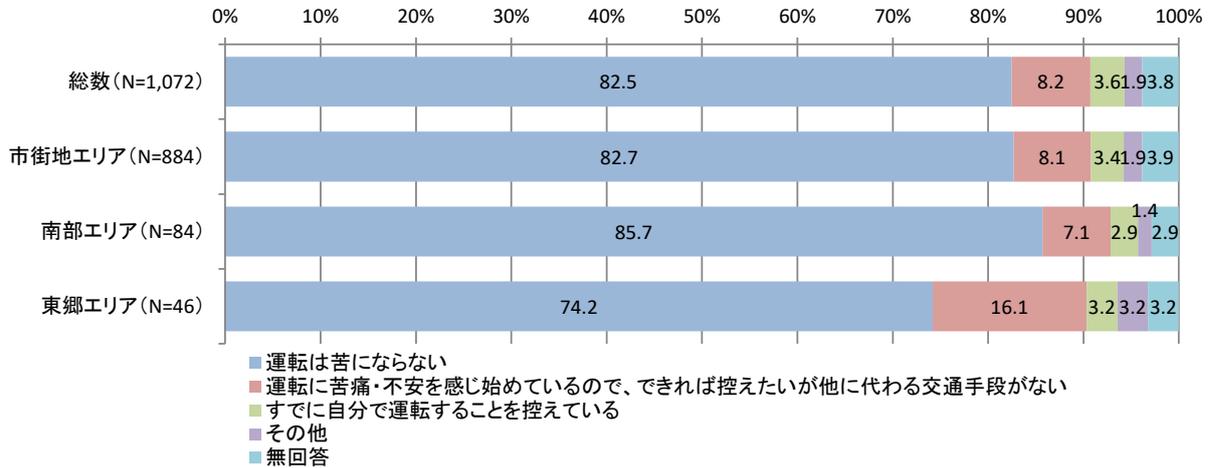
%	鉄道 (日豊本線)	高速バス	路線バス (宮交バス)	ぶらっとバス	南部ぶらっ とバス	乗合バスな んぶ	乗合バスと うごう	乗合タクシ ーほそしま
総数	1.3%	0.0%	0.6%	0.9%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
市街地エリア	1.0%	0.0%	0.5%	0.8%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
南部エリア	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
東郷エリア	0.0%	0.0%	4.3%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

%	タクシー	自分で車 を運転	家族等に よる送迎	バイク・原 付	自転車	徒歩	その他	無回答
総数	3.3%	60.5%	8.7%	0.7%	4.4%	2.7%	1.2%	15.0%
市街地エリア	3.7%	61.7%	8.4%	0.8%	4.4%	2.7%	0.9%	14.8%
南部エリア	0.0%	65.5%	6.0%	0.0%	3.6%	2.4%	1.2%	11.9%
東郷エリア	0.0%	50.0%	19.6%	2.2%	0.0%	0.0%	2.2%	19.6%

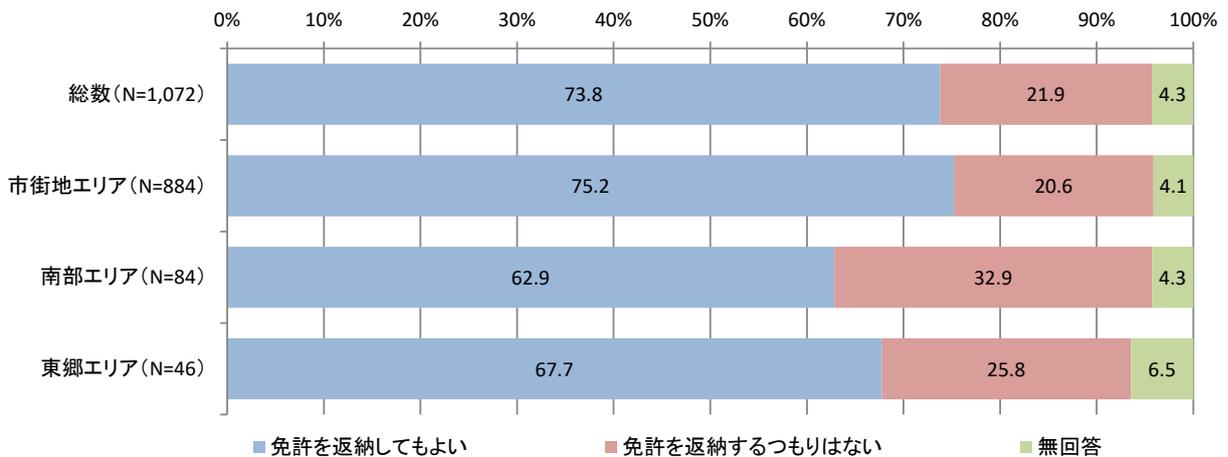
②運転免許証返納意向

- 免許保有者の意識として「運転に苦痛・不安を感じ始めており、できれば控えたいが他に代わる交通手段がない」との回答が8.2%であり、公共交通を使いたくても使えない方が一定数存在している。
- 運転可能年齢では75歳以上まで運転できるとの回答が多くなっているが、免許返納意向として73.8%存在していることから、公共交通サービスを向上させることにより自家用車から公共交通へ転換する可能性があると思われ。

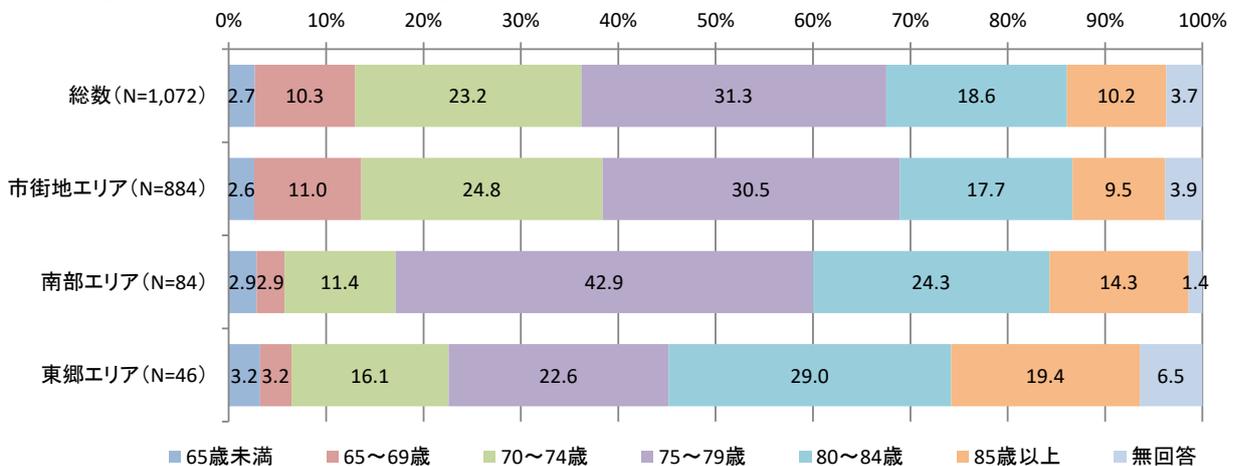
■運転に関する考え方



■免許返納意向



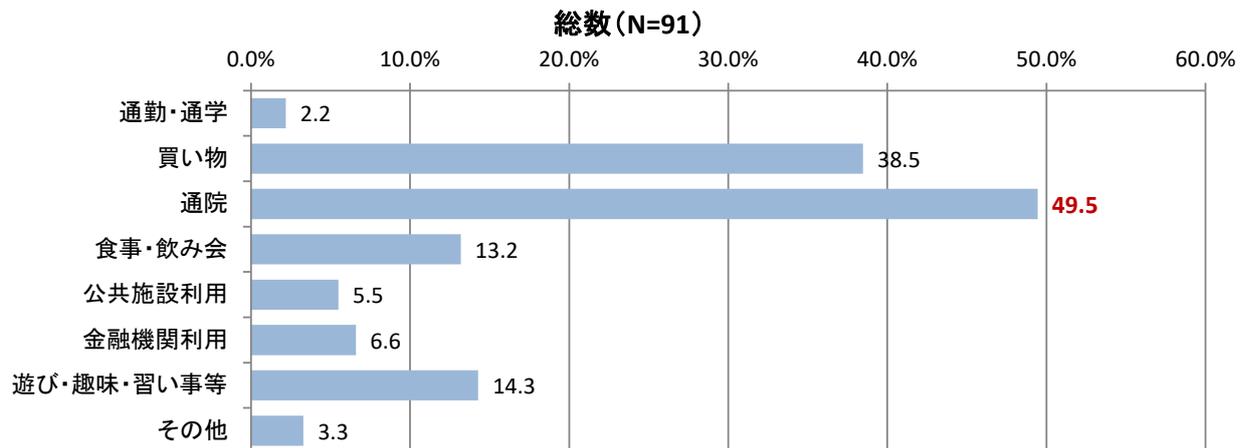
■運転可能年齢（何歳まで運転が可能と思っているか）



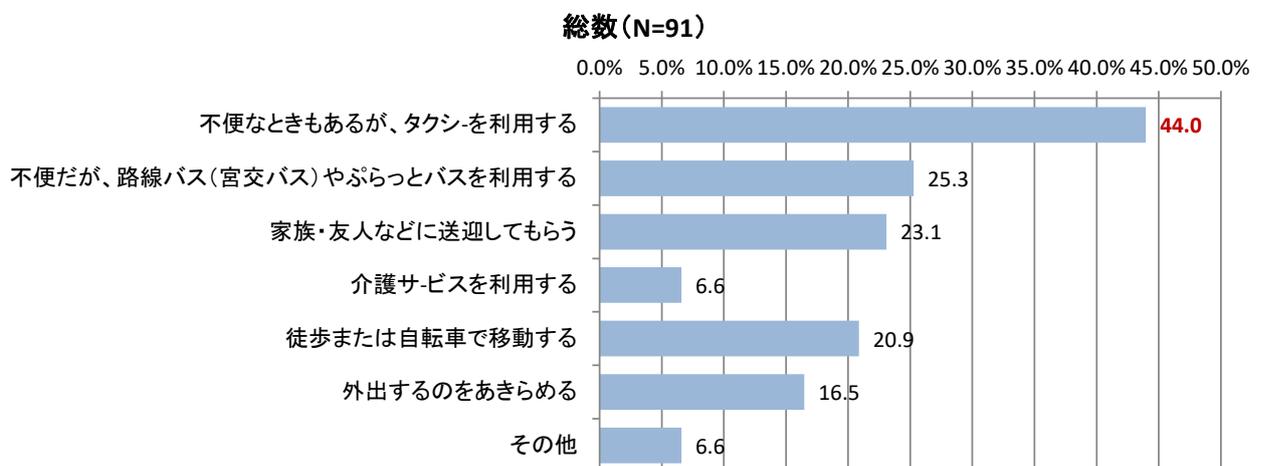
③外出における困りごと

- 外出時に交通手段がなく困ることがあると答えた 91 人のうち、困る外出行動では「通院」が 49.5%と最も多く、次いで「買い物」が 38.5%と他の項目に比べて高い数値を示している。
- 交通手段がなく困る際の対処法としては、「不便な時もあるが、タクシーを利用する」が 44.0%と最も多く、次いで「不便だが、路線バス（宮交バス）やぶらっとバスを利用する」が 25.3%となっている
- 「外出をあきらめる」と回答した方も 16.5%存在していることから、公共交通で救うためのラストワンマイル等の整備・見直しとして、交通弱者を減らす施策を講じる必要がある。

■外出時に困る目的



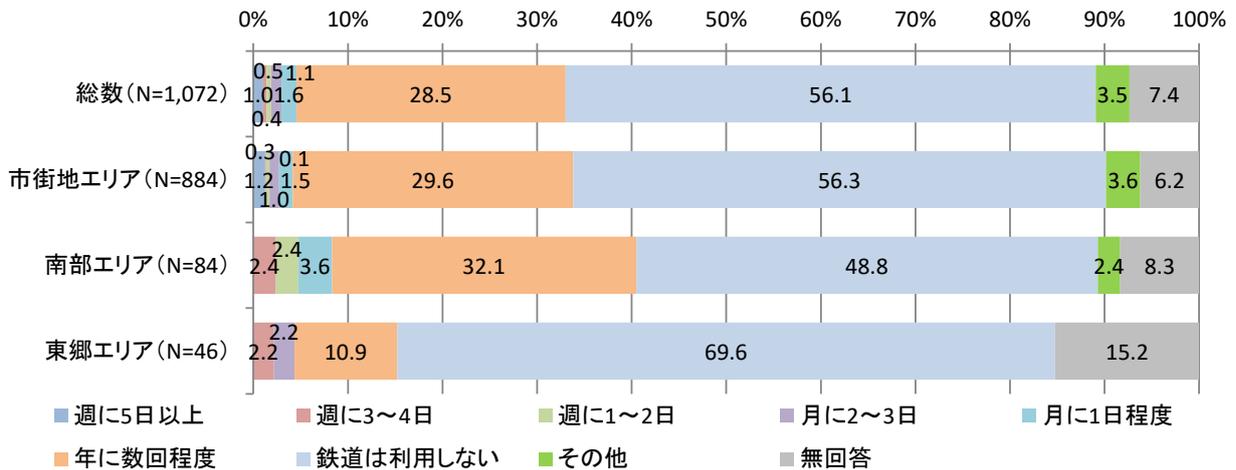
■対処法



④ 鉄道利用

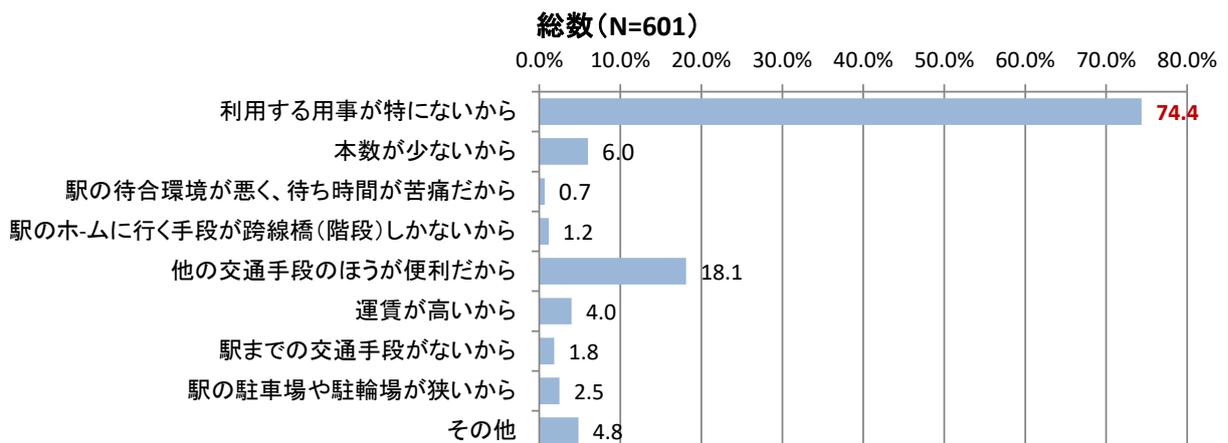
- 週に1回以上、日常的に鉄道を利用している方は全体の2%程度と非常に少なく、美々津駅が立地する南部エリアで比較的多く利用されている。
- 利用しない理由として、「利用する用事が特にならないから」が74.4%と大半を占めており、次いで「他の交通手段が便利だから」が18.1%となっている。
- 比較的満足度の高い項目としては、「到着時間の正確さ」で高い数値を示しており、満足度の低い項目では「運行本数」「運賃」「駅周辺での駐車場の確保のしやすさ」で高い数値となっている。

■ 利用率

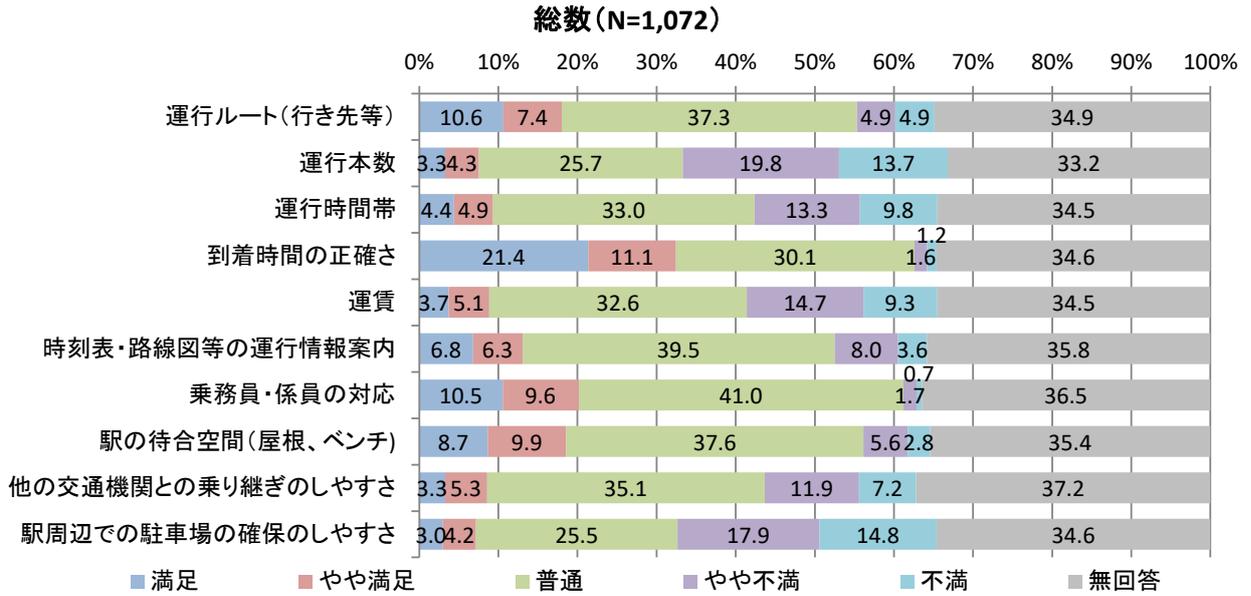


%	週に5日以上	週に3~4日	週に1~2日	月に2~3日	月に1日程度	年に数回程度	鉄道は利用しない	その他	無回答
総数	1.0%	0.4%	0.5%	1.1%	1.6%	28.5%	56.1%	3.5%	7.4%
市街地エリア	1.2%	0.1%	0.3%	1.0%	1.5%	29.6%	56.3%	3.6%	6.2%
南部エリア	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%	3.6%	32.1%	48.8%	2.4%	8.3%
東郷エリア	0.0%	2.2%	0.0%	2.2%	0.0%	10.9%	69.6%	0.0%	15.2%

■ 利用しない理由



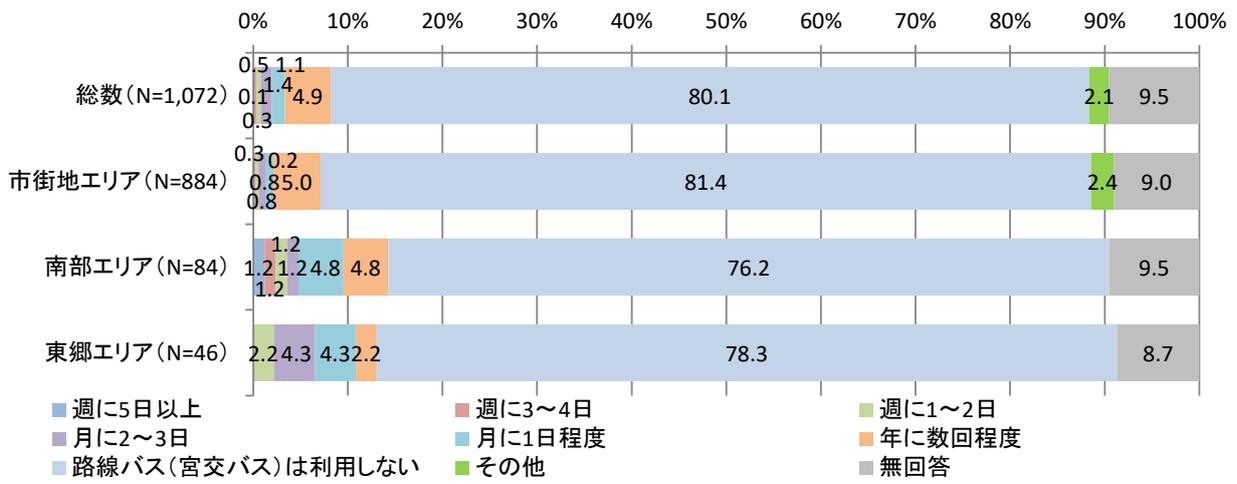
■ 満足度



⑤ 路線バス利用

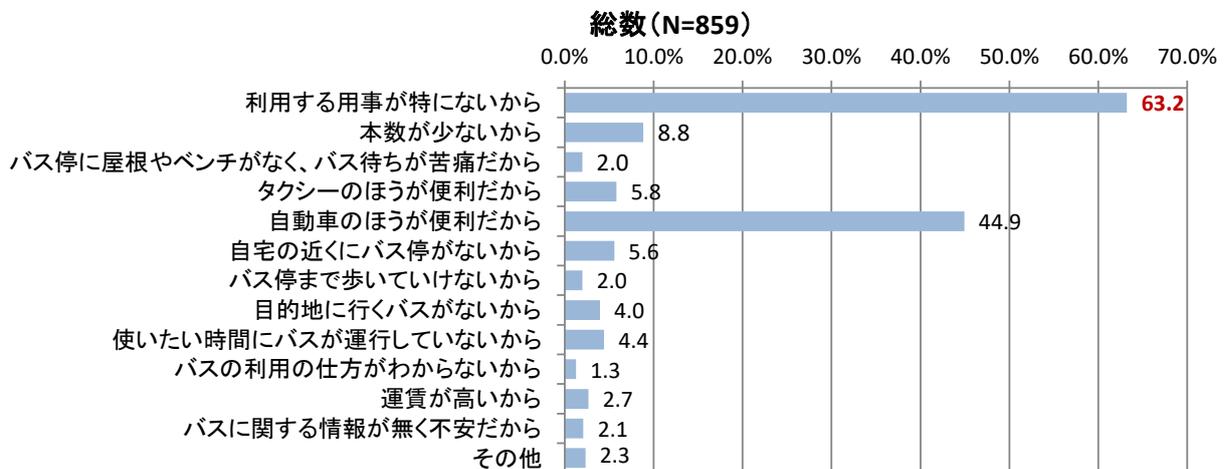
- 週に1回程度、路線バスを日常的に利用している方は全体の1%程度と非常に少なく、南部エリアと東郷エリアで比較的多く利用されている。
- 利用しない理由として、「利用する用事が特にないから」が63.2%と最も多く、次いで「自動車のほうが便利だから」が44.9%となっている。
- 利用条件としても「運転ができなくなってから」が64.3%と大半を占めているが、次いで「近所へのバス停設置、バス停までの送迎、フリー乗降制度等が導入され、バス停までの移動が楽になったら」が14.6%、「フリー乗車券のような割引切符が導入されたら」が13.2%となっている。
- 比較的満足度の高い項目としては、「運行時刻の正確さ」で高い数値を示しており、満足度の低い項目では「運行本数」「バス停留所の待合空間」で高い数値となっている

■ 利用率

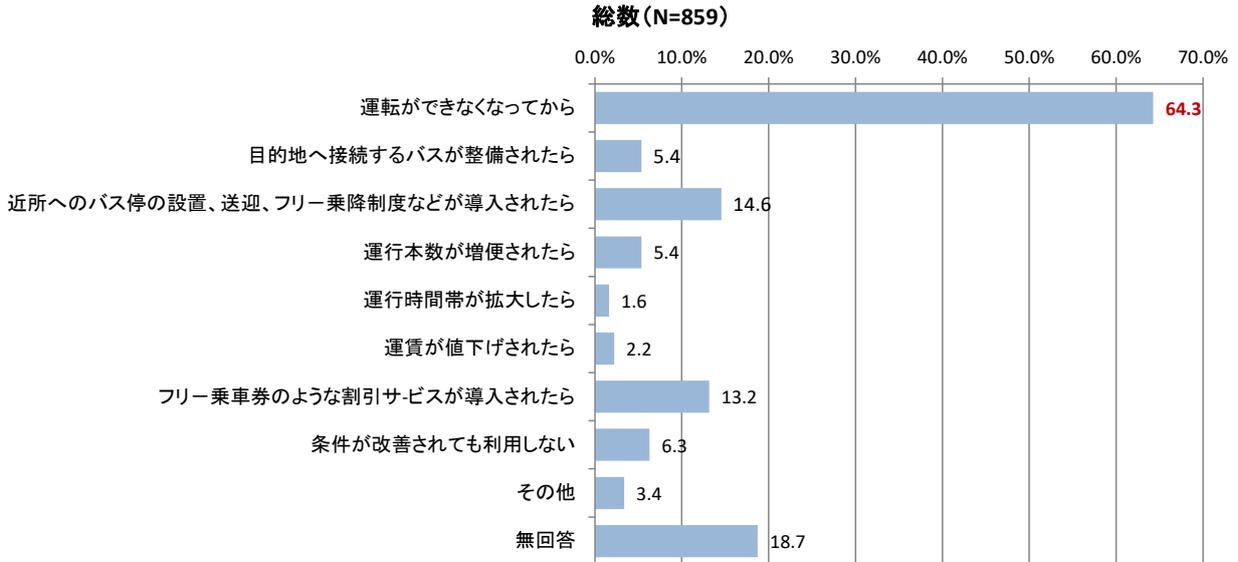


%	週に5日以上	週に3~4日	週に1~2日	月に2~3日	月に1日程度	年に数回程度	路線バス(宮交バス)は利用しない	その他	無回答
総数	0.1%	0.3%	0.5%	1.1%	1.4%	4.9%	80.1%	2.1%	9.5%
市街地エリア	0.0%	0.2%	0.3%	0.8%	0.8%	5.0%	81.4%	2.4%	9.0%
南部エリア	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	4.8%	4.8%	76.2%	0.0%	9.5%
東郷エリア	0.0%	0.0%	2.2%	4.3%	4.3%	2.2%	78.3%	0.0%	8.7%

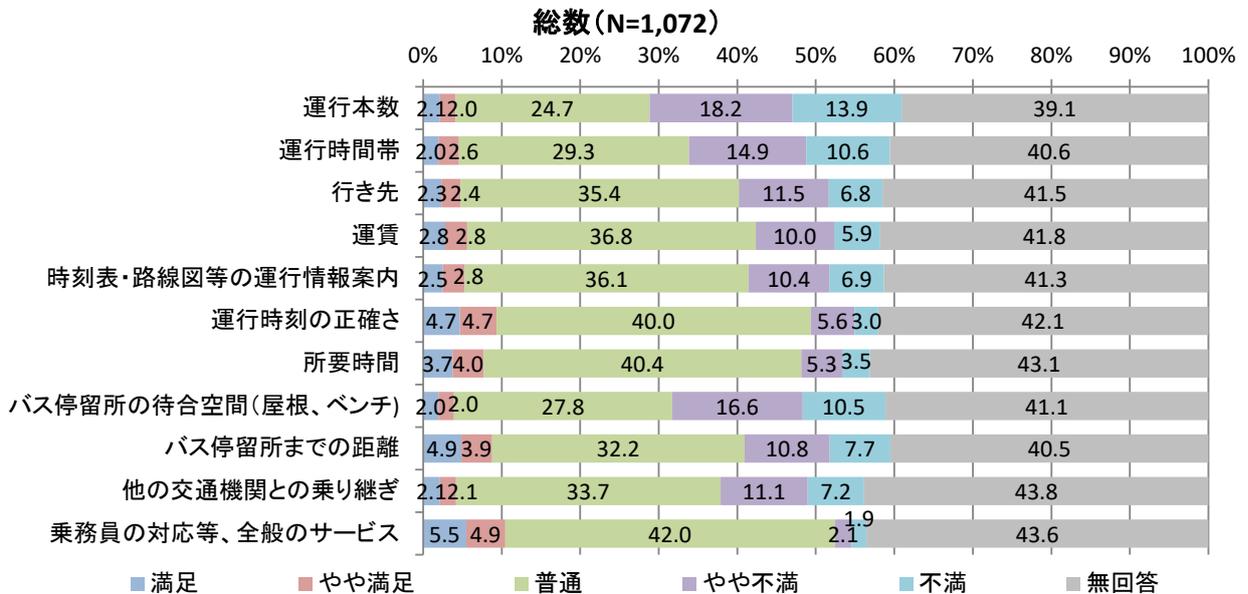
■ 利用しない理由



■ 利用するための条件



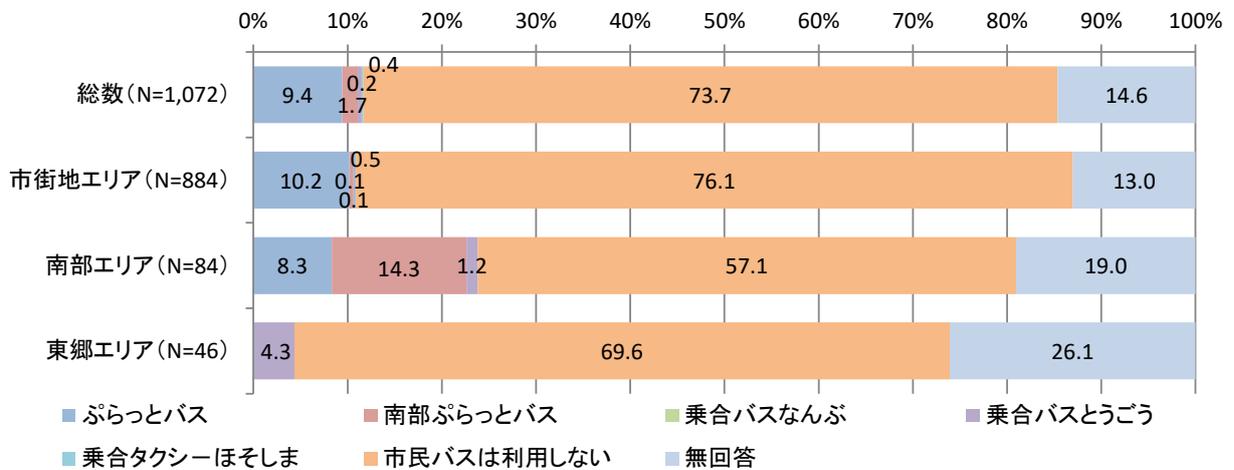
■ 満足度



⑥ 市民バス利用

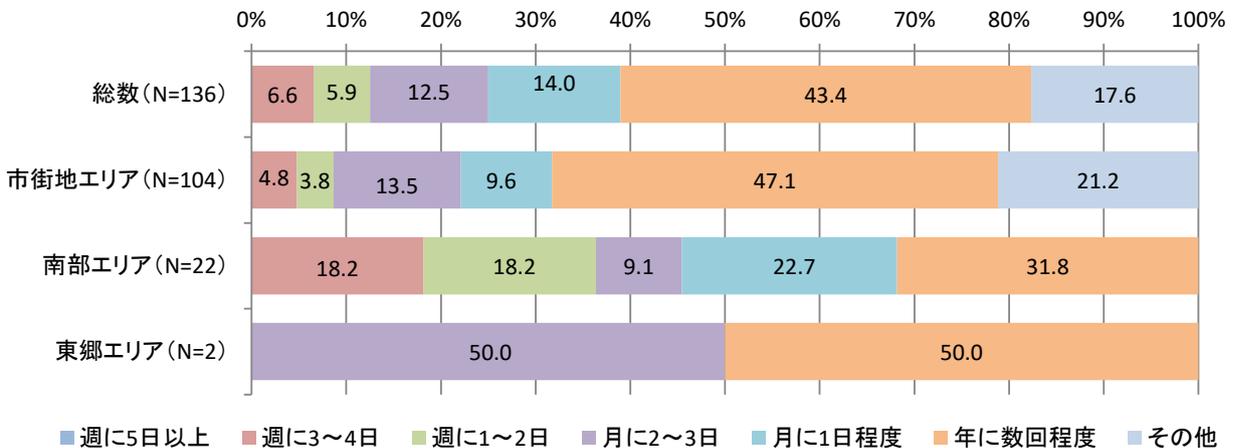
- 市民バスを利用している方は、全体の1割程度で、比較的市街地部を周遊している「ぷらっとバス」の利用が多く、南部エリアでは「南部ぷらっとバス」、東郷エリアでは「乗合バスとうごう」の利用がみられる。
- 週に1回程度、市民バスを日常的に利用している方は12.5%となっているが、南部エリアではその数値が高く36.4%となっている。
- 利用しない理由として、「利用する用事が特にないから」が65.3%と最も多く、次いで「自動車のほうが便利だから」が48.0%となっている。
- 利用条件としても「運転ができなくなってから」が68.6%と大半を占めているが、次いで「近所へのバス停設置、バス停までの送迎、フリー乗降制度等が導入され、バス停までの移動が楽になったら」が14.8%、「フリー乗車券のような割引切符が導入されたら」が12.8%となっている。
- 比較的満足度の高い項目としては、「運賃」で高い数値を示しており、満足度の低い項目では「運行本数」「バス停留所の待合空間」「運行時間帯」で高い数値となっている。

■ 利用率

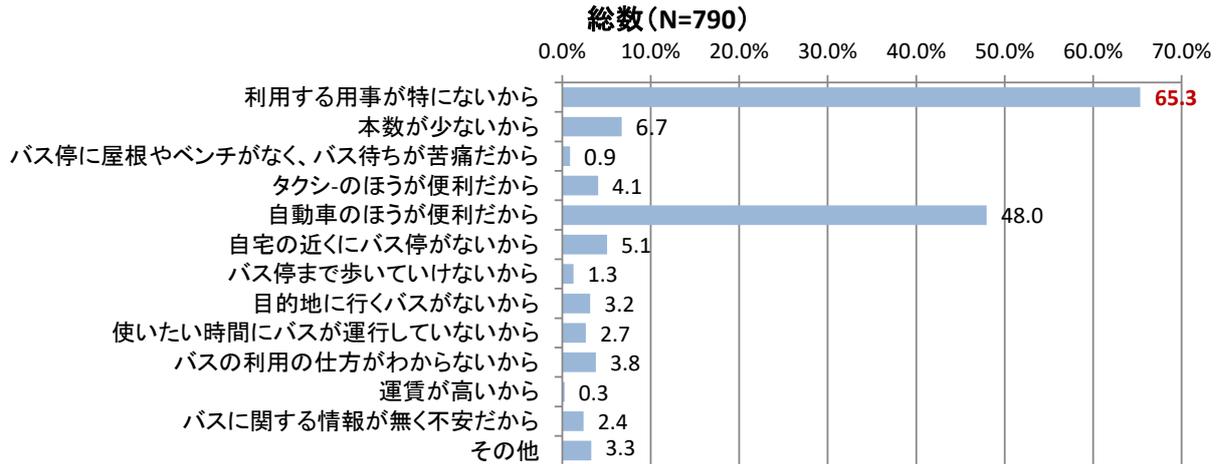


%	ぷらっとバス	南部ぷらっとバス	乗合バスなんぶ	乗合バスとうごう	乗合タクシーほそしま	市民バスは利用しない	無回答
総数	9.4%	1.7%	0.0%	0.4%	0.2%	73.7%	14.6%
市街地エリア	10.2%	0.5%	0.0%	0.1%	0.1%	76.1%	13.0%
南部エリア	8.3%	14.3%	0.0%	1.2%	0.0%	57.1%	19.0%
東郷エリア	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	69.6%	26.1%

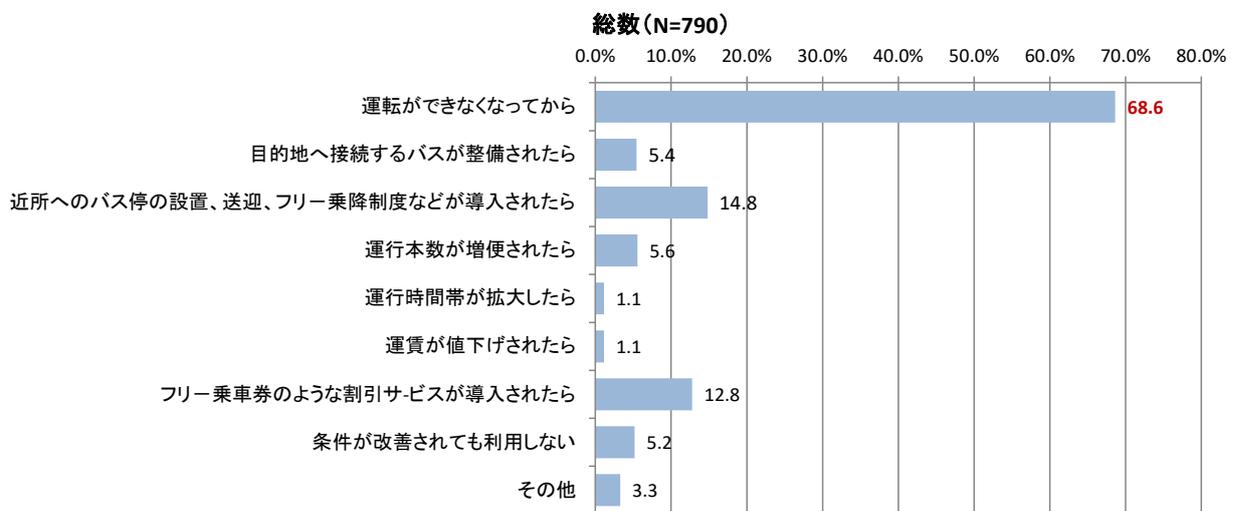
■ 利用頻度



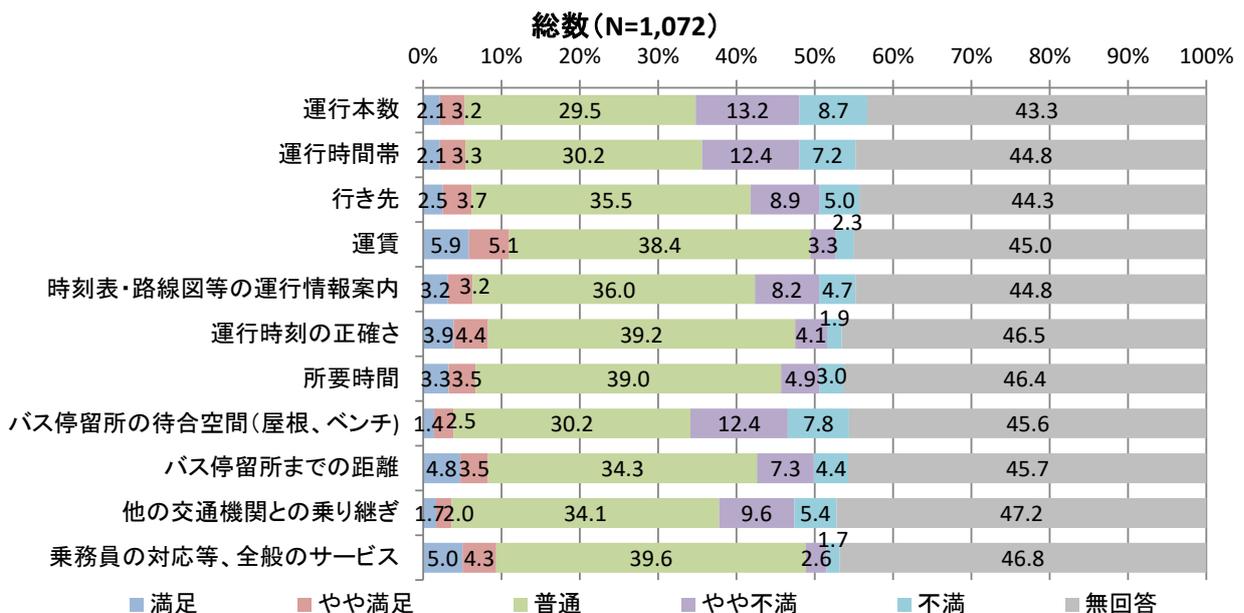
■ 利用しない理由



■ 利用するための条件



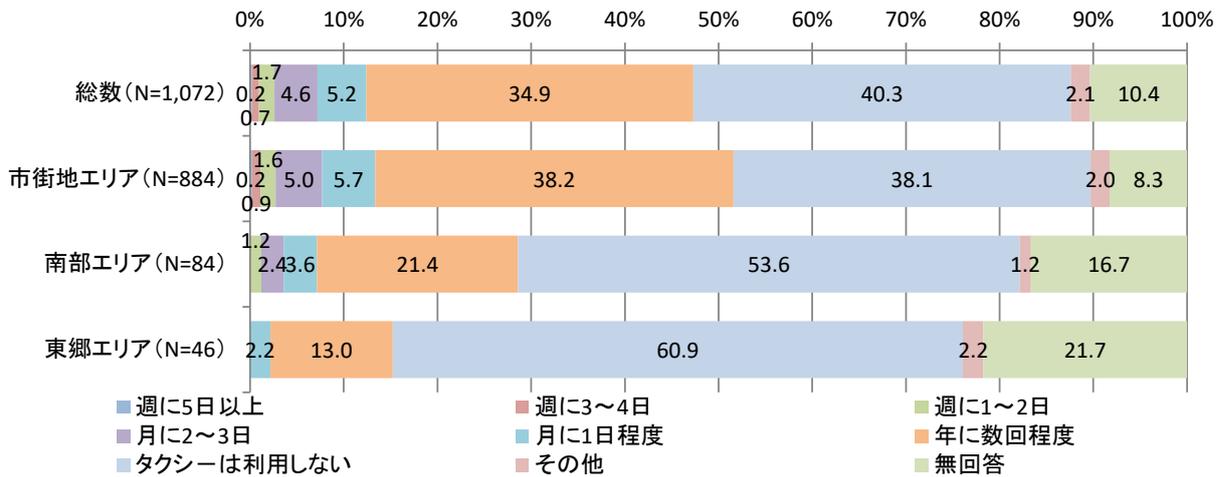
■ 満足度



⑦ タクシー利用

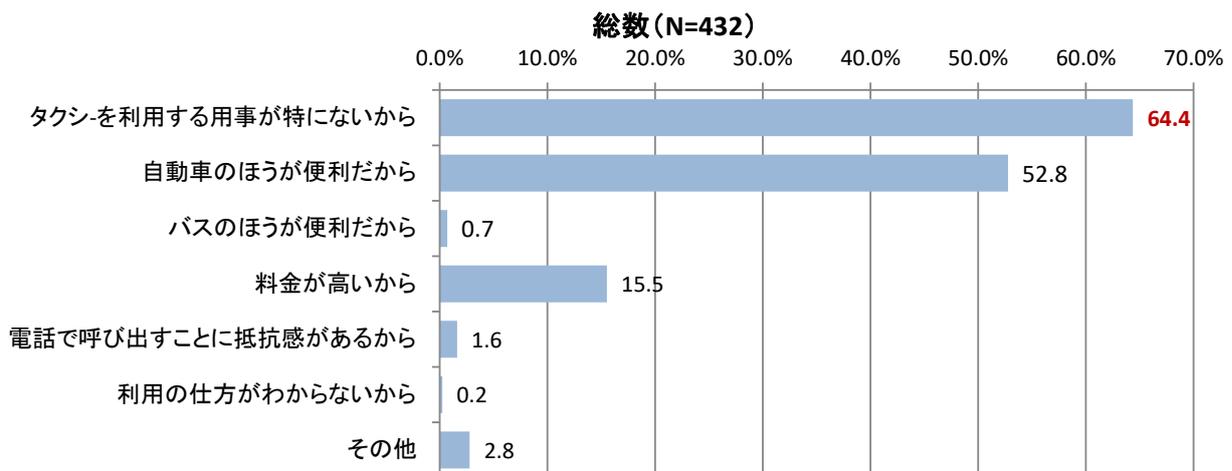
- 週に1回以上、日常的にタクシーを利用している方は全体の3%程度と非常に少なく、比較的市街地エリアで多く利用されている。
- 利用しない理由として、「タクシーを利用する用事が特にないから」が64.4%と大半を占めており、次いで「自動車のほうが便利だから」が52.8%となっている。
- 比較的満足度の高い項目としては、「車両の乗り心地・乗り降りのしやすさ」で高い数値を示しており、満足度の低い項目では「運賃」で高い数値となっている。

■ 利用率

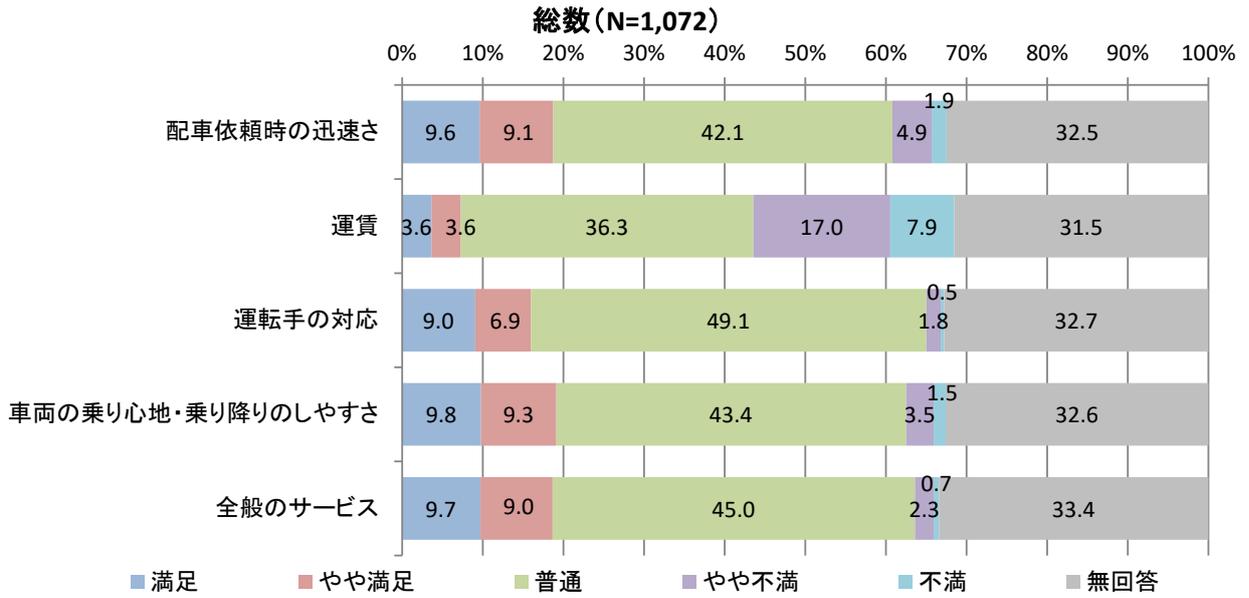


%	週に5日以上	週に3~4日	週に1~2日	月に2~3日	月に1日程度	年に数回程度	タクシーは利用しない	その他	無回答
総数	0.2%	0.7%	1.7%	4.6%	5.2%	34.9%	40.3%	2.1%	10.4%
市街地エリア	0.2%	0.9%	1.6%	5.0%	5.7%	38.2%	38.1%	2.0%	8.3%
南部エリア	0.0%	0.0%	1.2%	2.4%	3.6%	21.4%	53.6%	1.2%	16.7%
東郷エリア	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	13.0%	60.9%	2.2%	21.7%

■ 利用しない理由



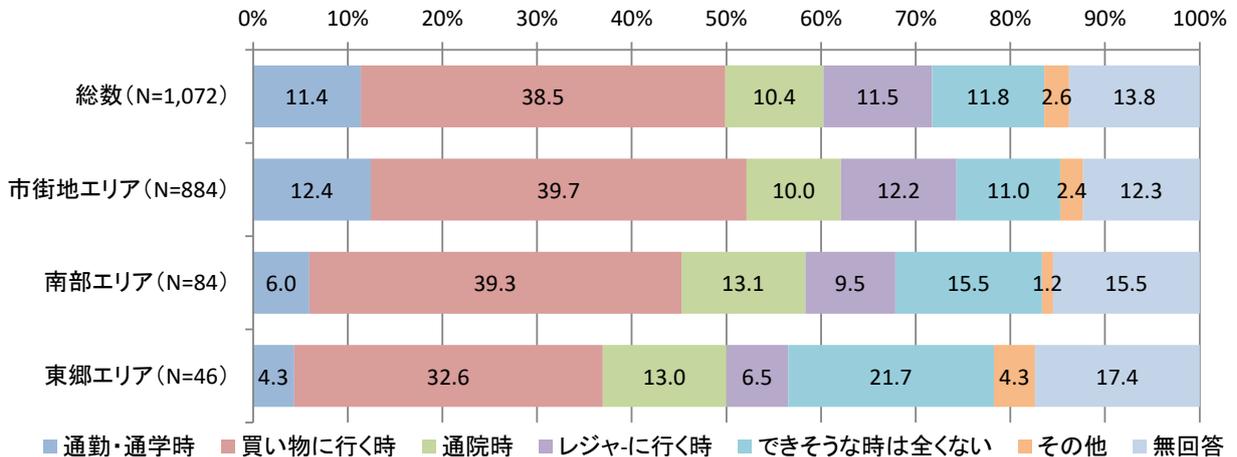
■ 満足度



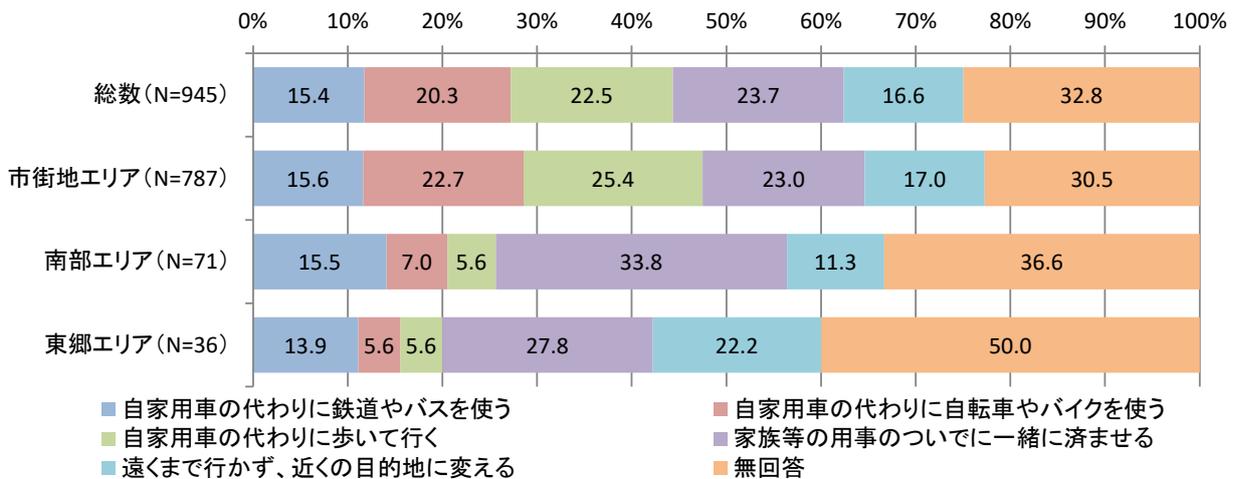
⑧公共交通への転換可能性

- 自家用車利用が及ぼす環境や健康への影響を示したのち、今後の自家用車利用について問うたところ、「買い物に行く時」にかしい自家用車の使い方ができるとの回答が38.5%と最も多かった。
- その際の手段として「家族等の用事のついでに一緒に済ませる」が23.7%と最も多く、自家用車利用からの脱却には難色を示す方が多い傾向にあるが、「自家用車の代わりに鉄道やバスを使う」との回答も15.4%と一定数存在している。

■「かしい自家用車の使い方」ができそうな時



■「かしい自家用車の使い方」ができそうな事



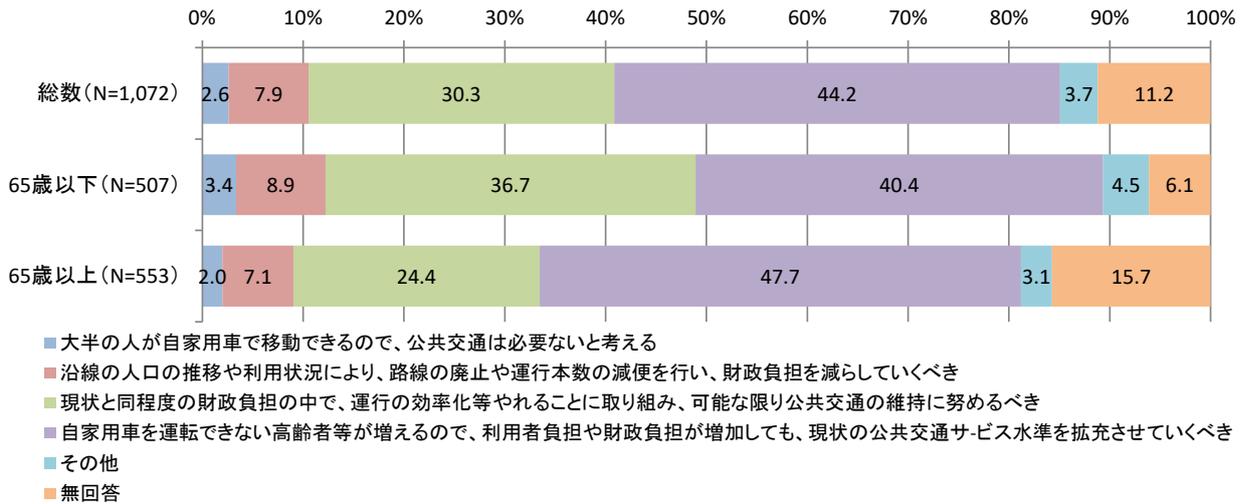
※「かしい自家用車の使い方」(例示)

- 週に1度は、鉄道やバスを利用する。
- 自転車やバイクを使って移動する。
- 買物やレジャーの際、遠くに行かずに近くの目的地に変える。
- 1度の外出で、いろいろな用事を済ませる。

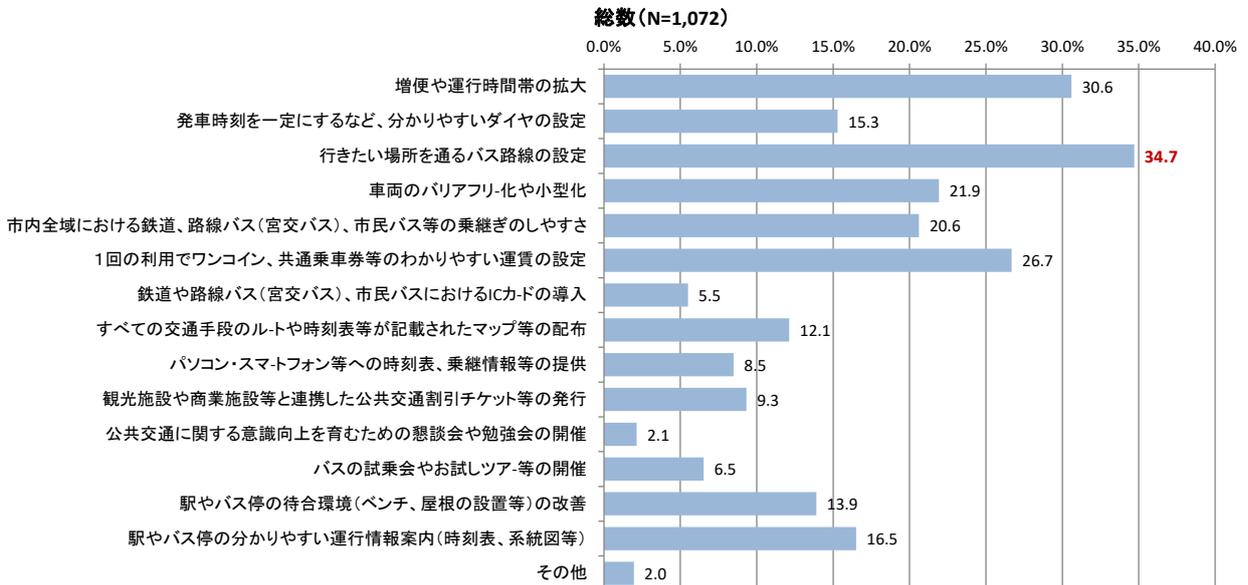
⑨地域公共交通の方向性

- 今後の方向性として、「自家用車を運転できない高齢者等が増えるので、利用者負担や財政負担が増加しても、現状の公共交通サービス水準を拡充させていくべき」が 44.2%と最も多く、次いで「現状と同程度の財政負担の中で、運行の効率化等やれることに取り組み、可能な限り公共交通の維持に努めるべき」が 30.3%となっており、年齢による考え方の差はあまり見られない。
- 利用者を増やすための効果的な取組として、「行きたい場所を通る路線の設定」が 34.7%と最も多く、次いで「増便や運行時間帯の拡大」が 30.6%、「1回の利用でワンコイン、共通乗車券等のわかりやすい運賃の設定」が 26.7%となっている。

■望ましい方向性



■利用促進策



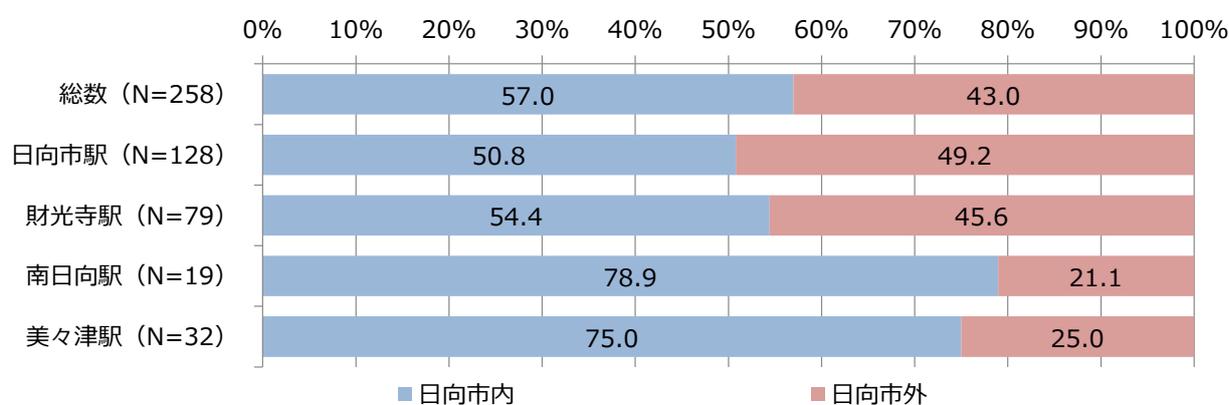
(2) 公共交通利用者調査

対象者	・市内公共交通機関を利用している方
主な調査項目	・利用者属性（性別・年齢）、OD、利用特性（端末手段・利用目的・頻度） ・運行サービスに対する満足度（便数・運行時間帯・行き先・運賃等） ・改善して欲しいサービス（行き先・運行日・運行本数等）
調査方法	<p>《鉄道・路線バス》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査員が利用者に直接ヒアリング（始発～終発） <p>《市民バス》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査員がバス車両に乗車し直接ヒアリング、OD 調査取得（始発～終発） <p>《乗合タクシーほそしま》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転手による調査票配布・回収
調査期間	<p>《鉄道・路線バス》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4（2022）年 9 月 28 日（水） <p>《市民バス》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4（2022）年 9 月 27 日（火） ：乗合バスとうごう（仲深坪谷越表線、鶴野内迫野内八重原線）、 乗合バスなんぶ（寺迫庭田線） ・令和 4（2022）年 9 月 28 日（水） ：ぷらっとバス、南部ぷらっとバス、 乗合バスとうごう（田野羽坂線、福瀬小野田線）、 乗合バスなんぶ（飯谷田の原線） ・令和 4（2022）年 9 月 29 日（木） ：乗合バスとうごう（仲深坪谷線） 乗合バスなんぶ（鶴毛朮木線） <p>《乗合タクシーほそしま》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4（2022）年 10 月 3 日（月）～10 月 31 日（月）
回答数	<p>《鉄道》</p> <p>N=258 （日向市駅 128、財光寺駅 79、南日向駅 19、美々津駅 32）</p> <p>《路線バス》</p> <p>N=53 （日向市駅東口 8、道の駅とうごう 7、イオンタウン日向 11、北町バス停 27）</p> <p>《市民バス》</p> <p>N=245 （ぷらっとバス 111、南部ぷらっとバス 74、乗合バスとうごう 50、乗合バスなんぶ 10）</p> <p>《乗合タクシーほそしま》</p> <p>N= 5</p>

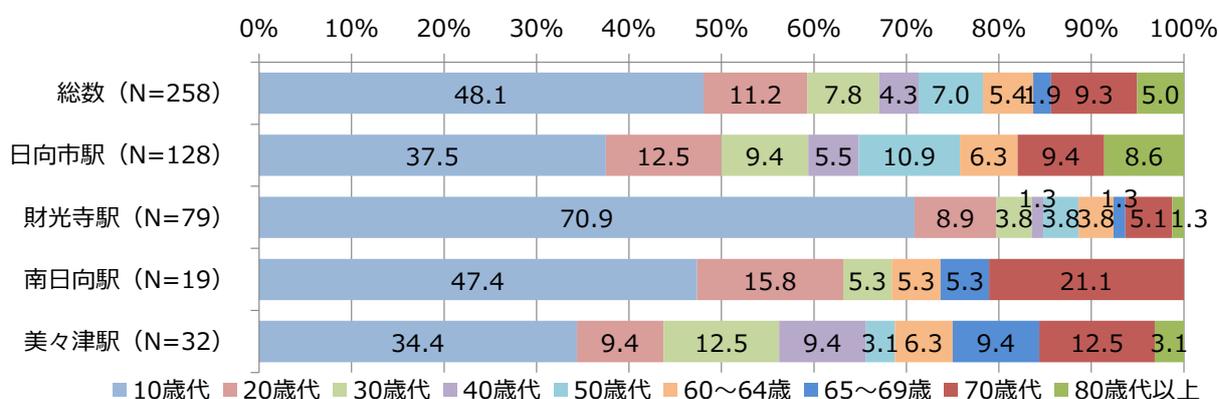
① 鉄道利用者

- 利用者の特性としては、10歳代の市内居住者による利用が多く、主に「通学」目的として利用されている特徴がある。
- 主な目的が「通学」の利用であることから、利用頻度としても「週に5日以上」が55.0%と最も多い傾向にある。
- 鉄道駅までの末端交通手段としては「徒歩」「自転車」が多くを占めており、「家族等の車で送迎」も17.4%と多い傾向にある。また、公共交通からの乗継利用者は、「路線バス」や「南部ぷらっとバス」「ぷらっとバス」の利用が若干数見られ、全体で5%程度であった。
- 鉄道利用者の比較的満足度の高い項目では、「乗務員・係員の対応」「到着時間の正確さ」「運行ルート(行き先等)」で高い数値を示しており、満足度の低い項目では「運行本数」「運行時間帯」で高い数値となっている。
- 改善要望ありと回答した90名のうち、8割の方が「運行本数の増便」を望んでいる。

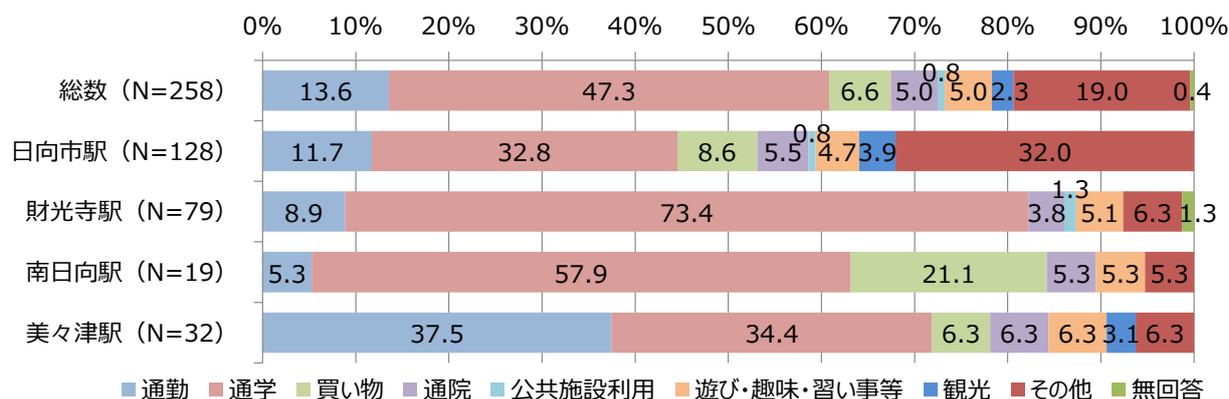
■ 居住地



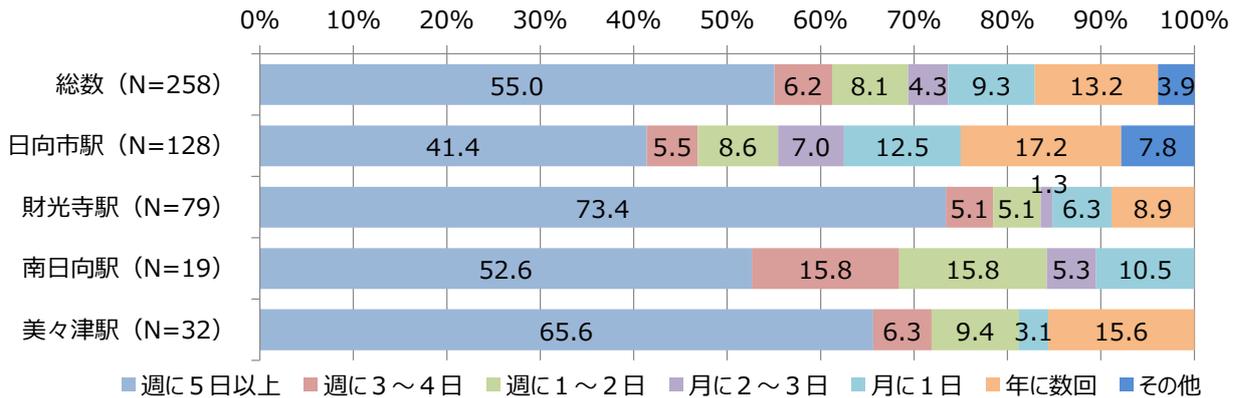
■ 年齢



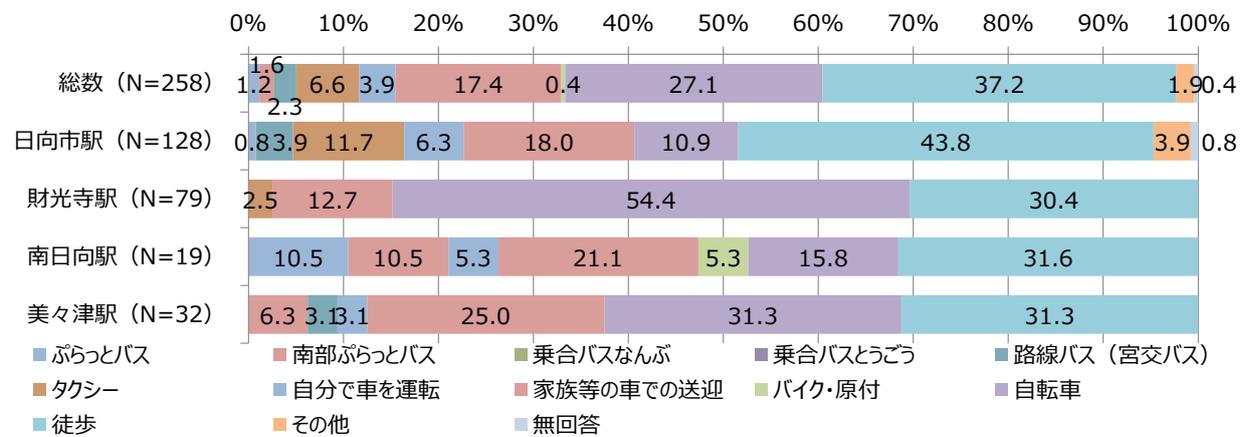
■ 利用目的



■ 利用頻度



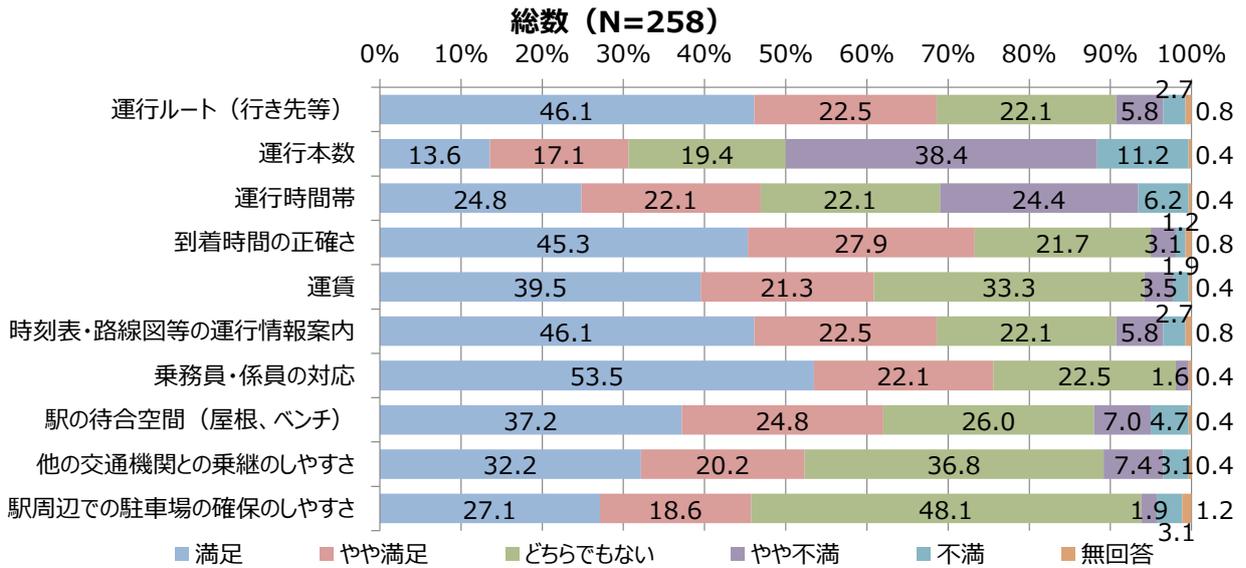
■ 駅までの端末交通手段



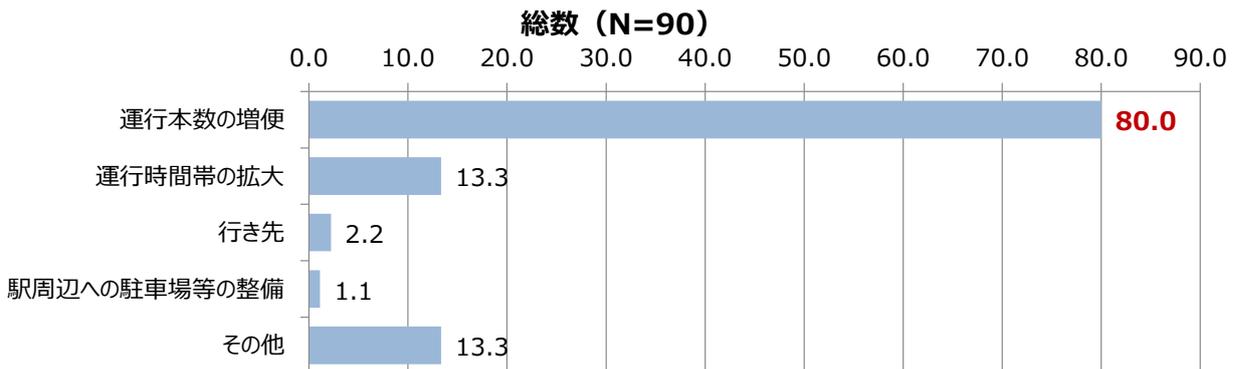
%	ぷらっとバス	南部ぷらっとバス	乗合バスなんぶ	乗合バスとうごう	路線バス(宮交バス)	タクシー
総数	1.2%	1.6%	0.0%	0.0%	2.3%	6.6%
日向市駅	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%	11.7%
財光寺駅	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%
南日向駅	10.5%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
美々津駅	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%

%	自分で車を運転	家族等の車での送迎	バイク・原付	自転車	徒歩	その他	無回答
総数	3.9%	17.4%	0.4%	27.1%	37.2%	1.9%	0.4%
日向市駅	6.3%	18.0%	0.0%	10.9%	43.8%	3.9%	0.8%
財光寺駅	0.0%	12.7%	0.0%	54.4%	30.4%	0.0%	0.0%
南日向駅	5.3%	21.1%	5.3%	15.8%	31.6%	0.0%	0.0%
美々津駅	3.1%	25.0%	0.0%	31.3%	31.3%	0.0%	0.0%

■ 満足度



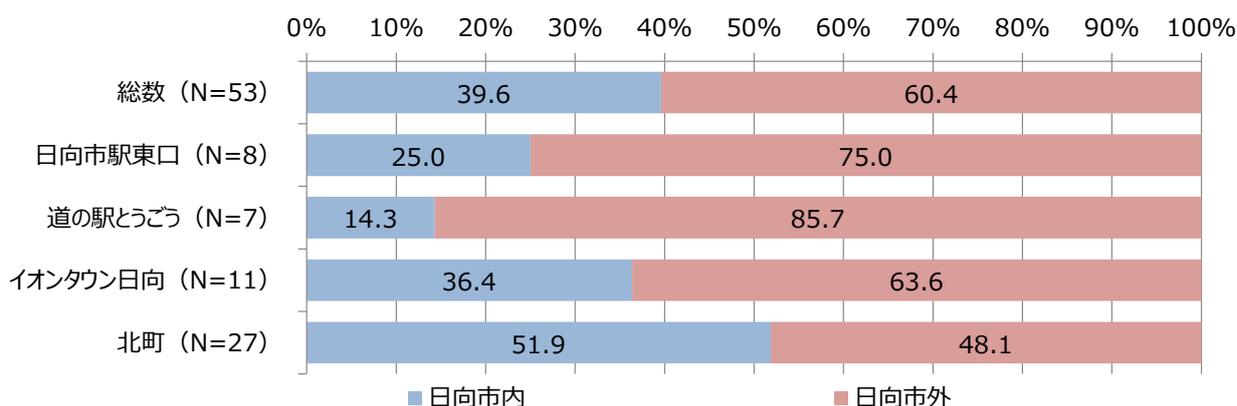
■ 要望



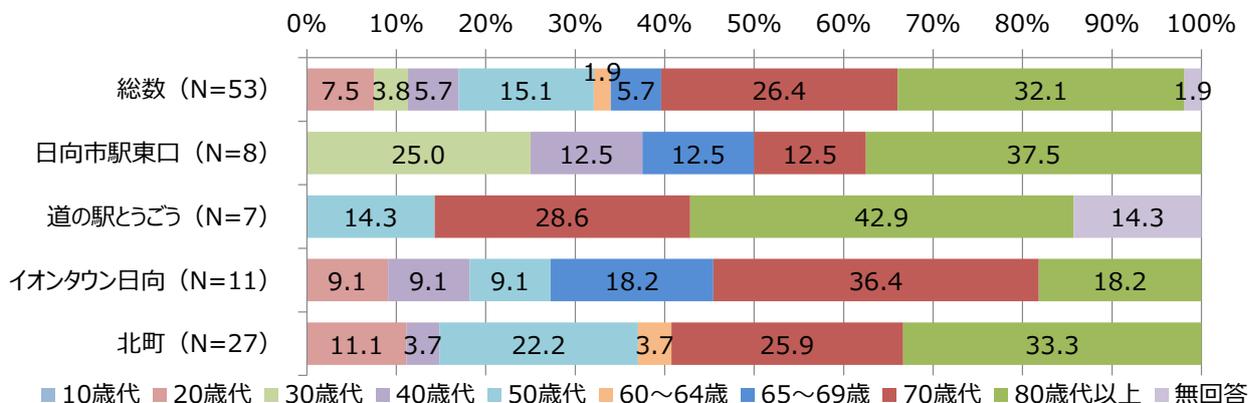
②路線バス利用者

- 利用者の特性としては、70 歳代以上の市外居住者による利用が多く、主に「通院」「買い物」目的として利用されている特徴がある。
- 利用頻度では「週に 1～2 日」が 30.2%と最も多く、次いで「月に 1 日」が 20.8%となっている。
- バス停までの端末交通手段としては「徒歩」が多くを占めており、公共交通からの乗継利用者は、「タクシー」や「鉄道」の利用が若干数見られ、全体で 12.3%程度であった。
- 路線バス利用者の比較的満足度の高い項目では、「乗務員の対応等、全般のサービス」「行き先」「所要時間」で高い数値を示しており、満足度の低い項目では「運行本数」「運行時間帯」で高い数値となっている。
- 改善要望ありと回答した 21 名のうち、半数程度の方が「運行本数の増便」を望んでいる。

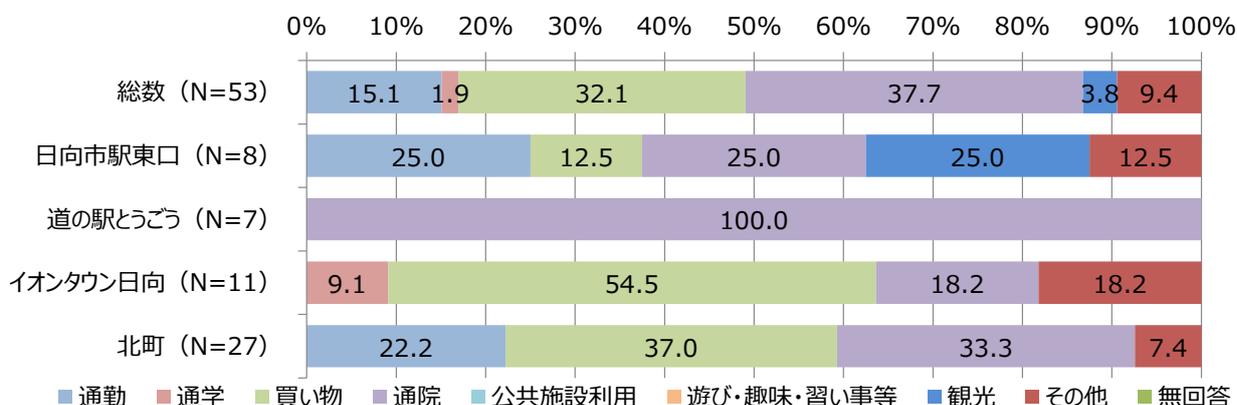
■居住地



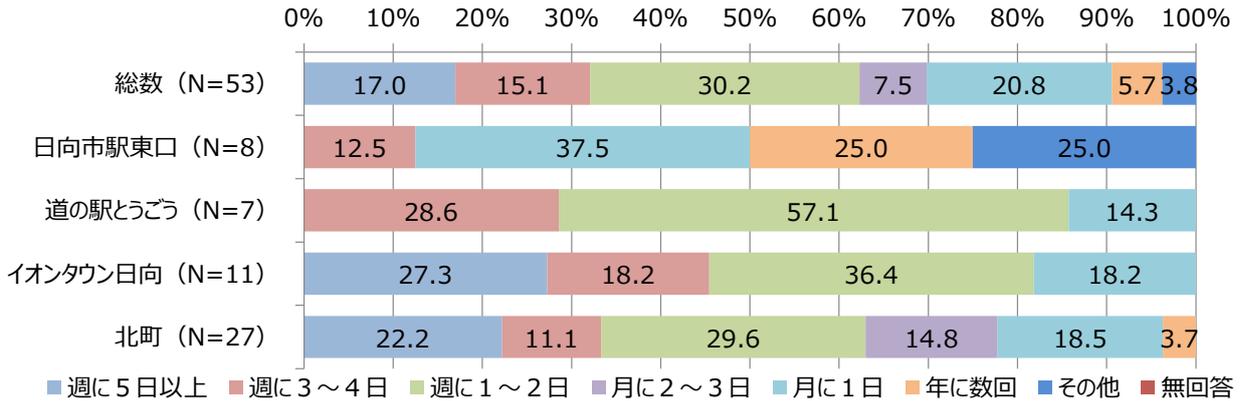
■年齢



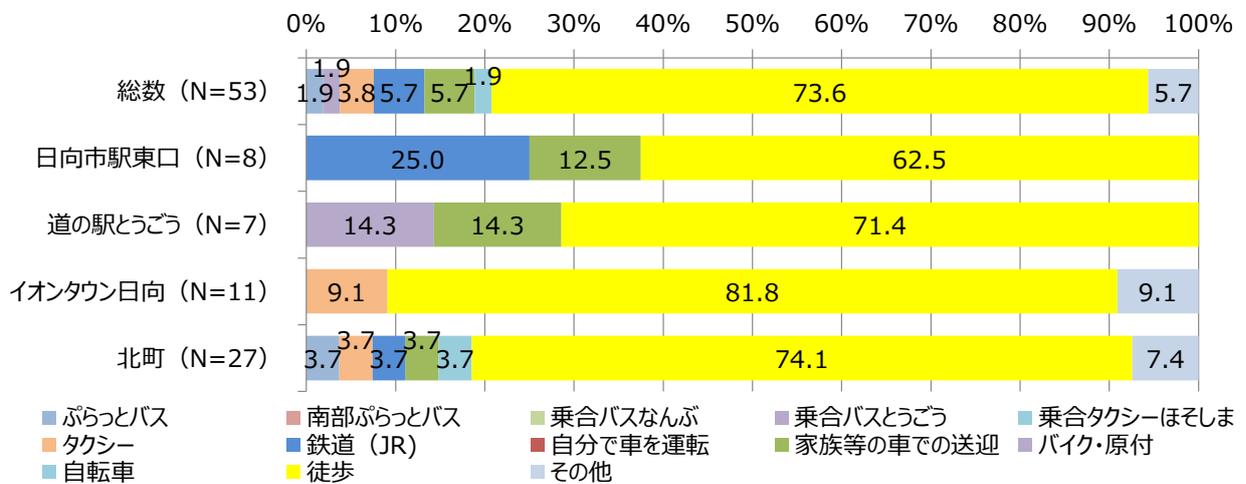
■利用目的



■ 利用頻度



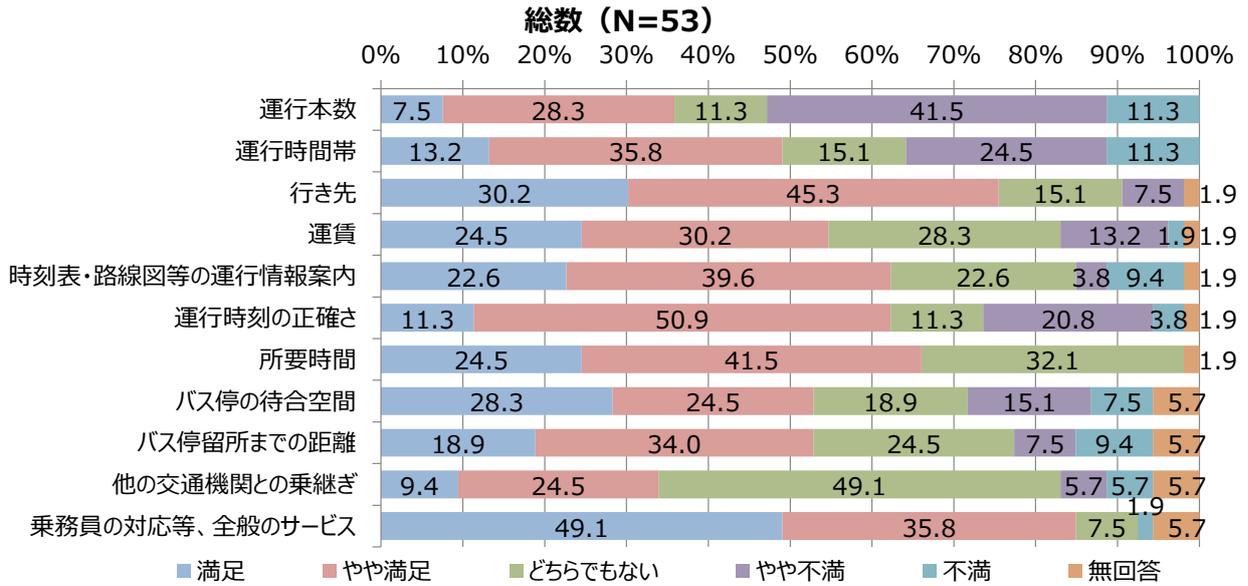
■ バス停までの端末交通手段



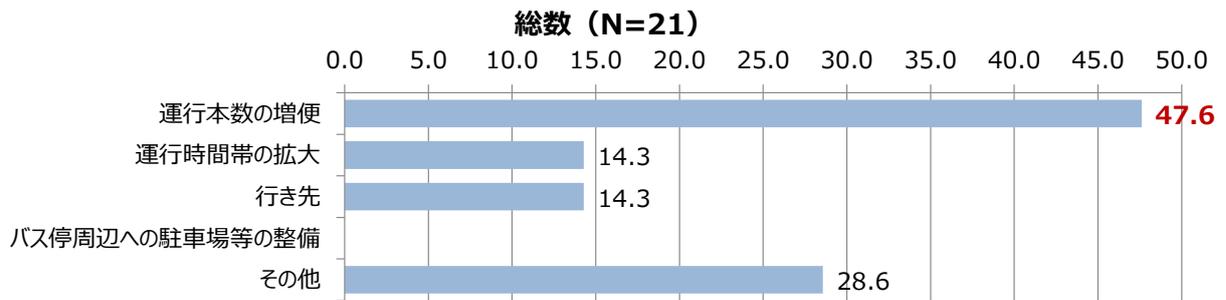
%	ぶらっとバス	南部ぶらっとバス	乗合バスなんぶ	乗合バスとうごう	乗合タクシーほそしま	タクシー
総数	1.9%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	3.8%
日向市駅東口	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
道の駅とうごう	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
イオンタウン日向	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%
北町	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%

%	鉄道 (JR)	自分で車を運転	家族等の車での送迎	バイク・原付	自転車	徒歩	その他
総数	5.7%	0.0%	5.7%	0.0%	1.9%	73.6%	5.7%
日向市駅東口	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	62.5%	0.0%
道の駅とうごう	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	71.4%	0.0%
イオンタウン日向	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	81.8%	9.1%
北町	3.7%	0.0%	3.7%	0.0%	3.7%	74.1%	7.4%

■ 満足度



■ 要望



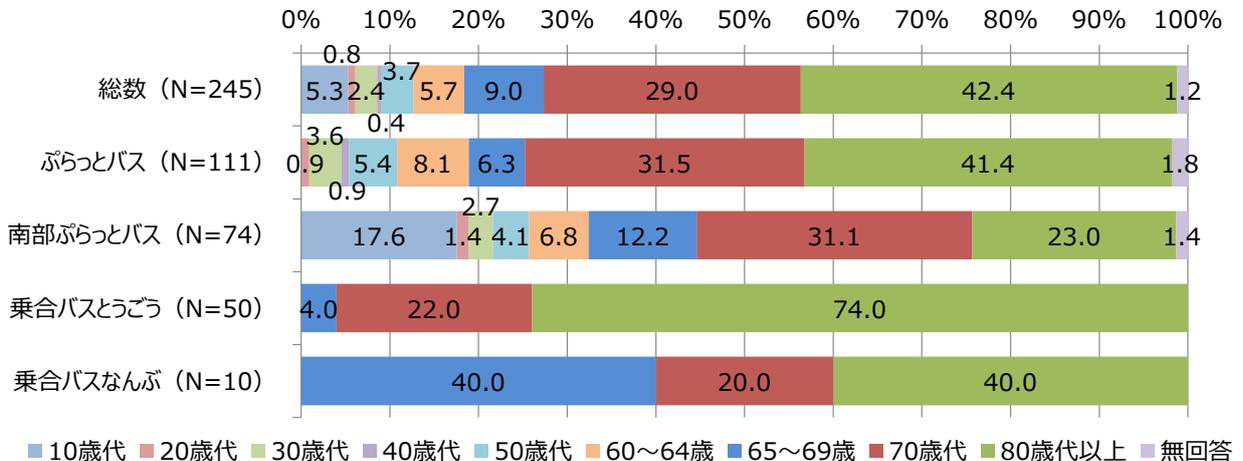
③市民バス利用者

- 利用者の特性としては、70歳以上の市内居住者による利用が多く、主に「通院」「買い物」目的として利用されている特徴がある。また、ぷらっとバスおよび南部ぷらっとバスは若い層の「通勤・通学」目的としても比較的利用されている。
- どのバスも「往復」で利用されている傾向にあり、利用頻度では「ぷらっとバス・南部ぷらっとバス」で週に5日以上」の割合が多く、「乗合バスとうごう・なんぶ」では、もともと地域毎で週2回もしくは週1回の利用しかできないため、「週に1～2日」の割合が多くなっている。
- 市民バス利用者の満足度は全体的に高い傾向にあり、特に「乗合バスなんぶ・とうごう」で高くなっている。「ぷらっとバス」では「やや不満」との声が若干数みられる。
- 改善要望ありと回答した99名のうち、「運行本数」「運行時間帯」が多くを占めている。

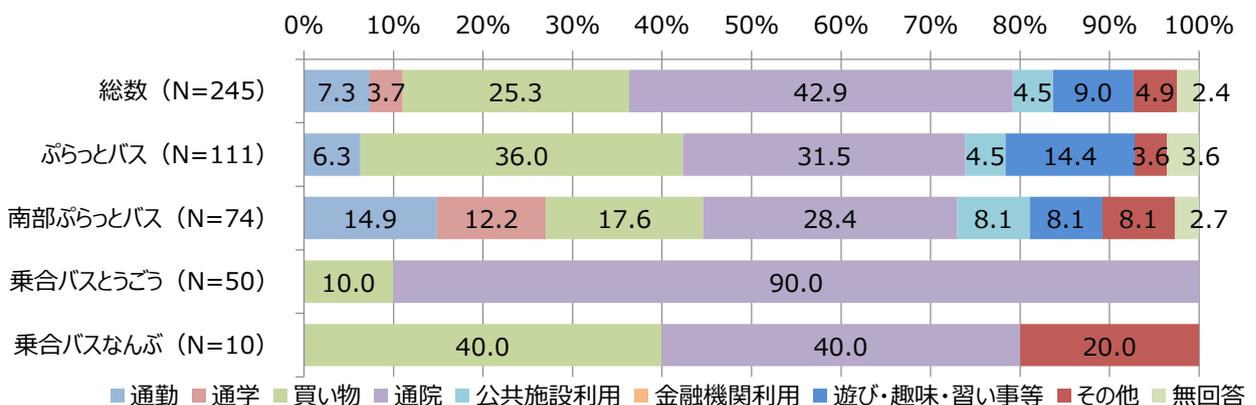
■居住地



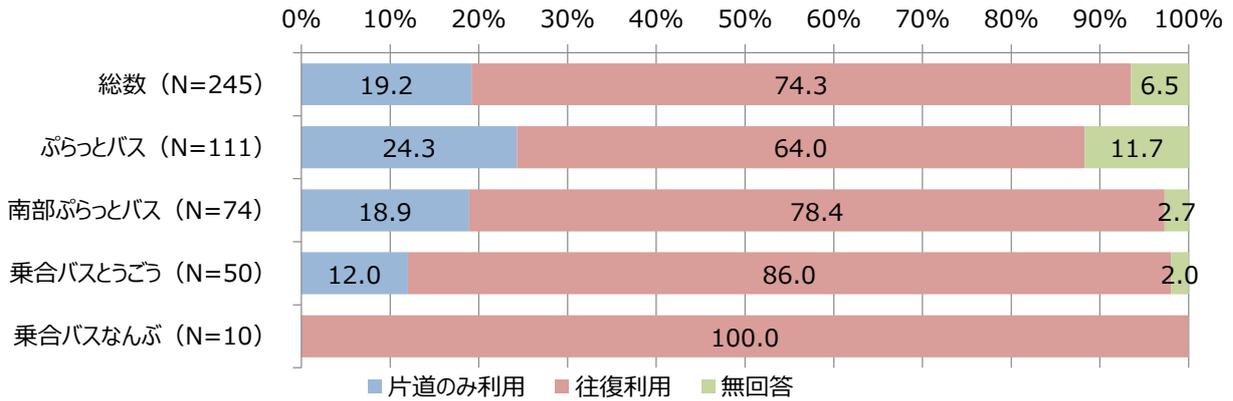
■年齢



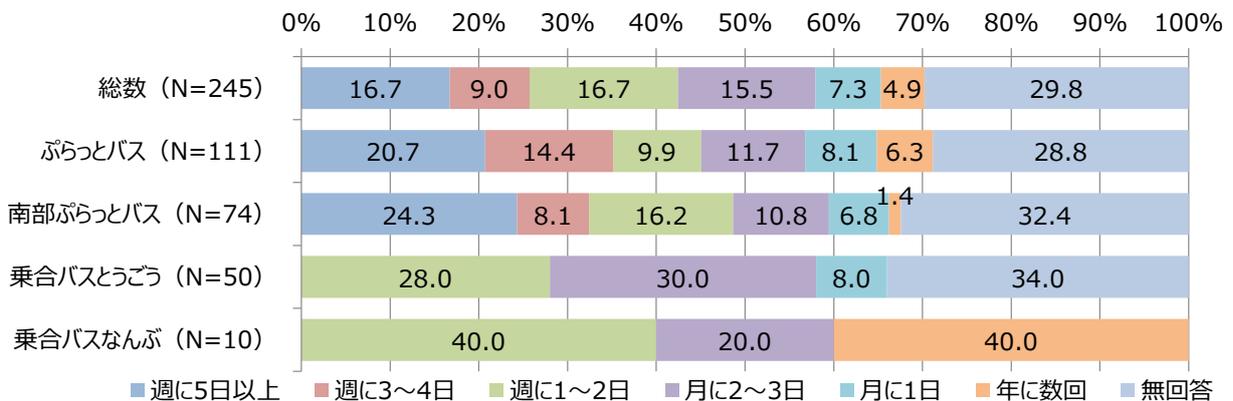
■利用目的



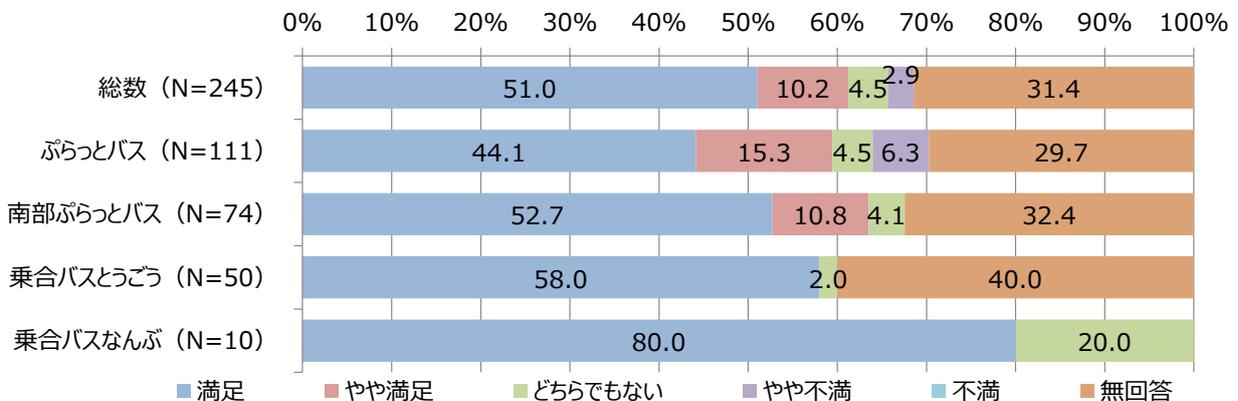
■ 利用法



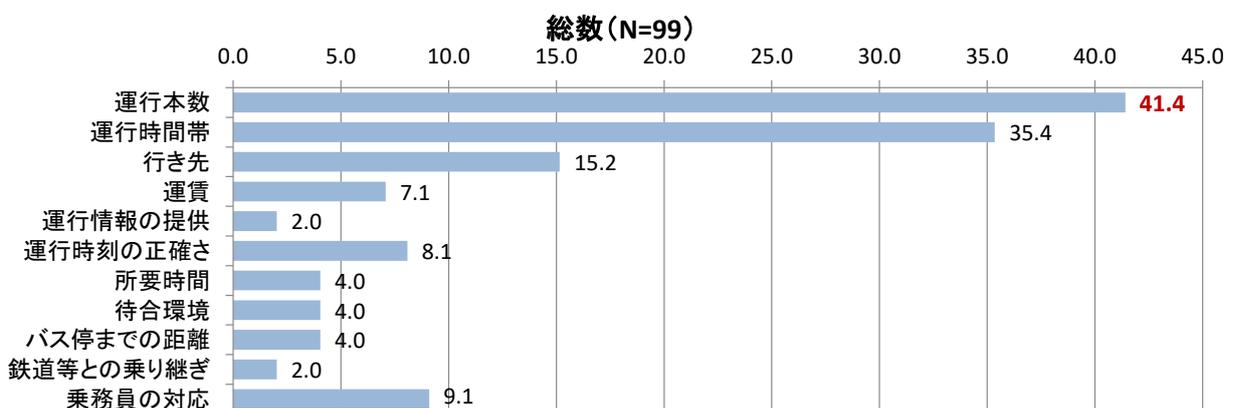
■ 利用頻度



■ 満足度



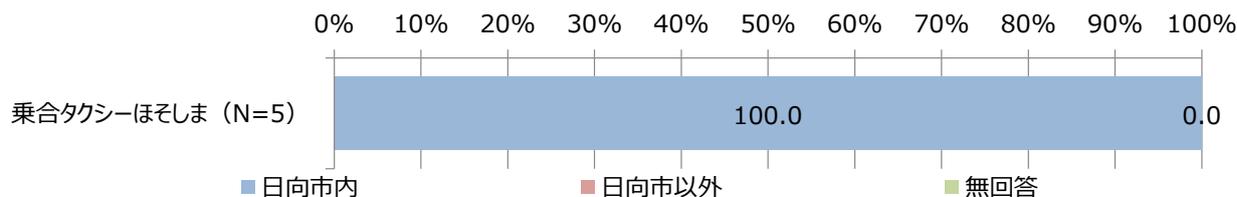
■ 要望



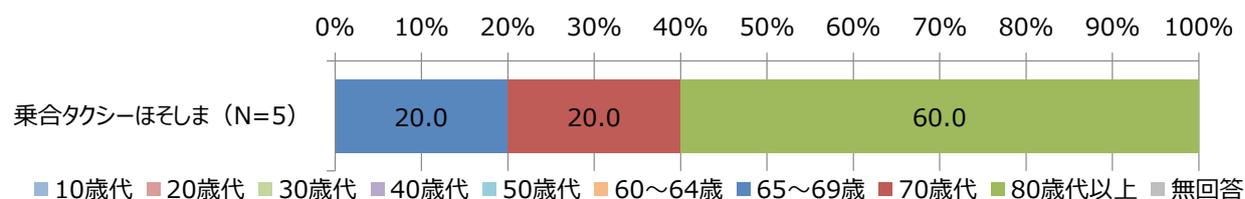
④乗合タクシーほそしま利用者

- 利用者の年齢層としては、「65～69歳」と「70歳代」が1名、「80歳代以上」が3名となっており、利用目的では「買い物」「通院」となっている。
- 利用頻度では「月に2～3日」「月に1日」の割合が多く、週に1日以上の日常的な利用をしている方は少ない結果となっている。
- 乗合タクシーほそしま利用者の満足度は「満足」「やや満足」「どちらでもない」と回答した方が1名ずつ、「やや不満」との回答が2名となっている。
- 要望としては、「運行本数」「運行時刻の正確さ」「運行時間帯」が挙げられている。

■居住地



■年齢



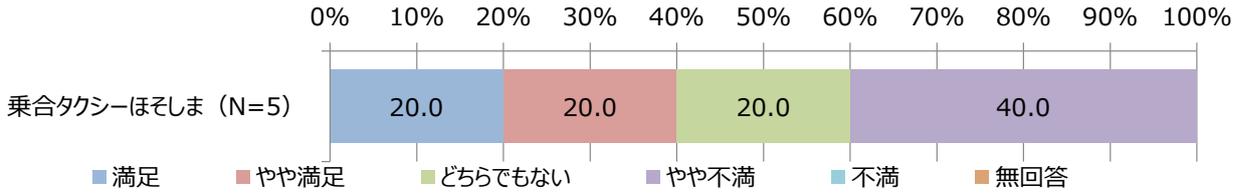
■利用目的



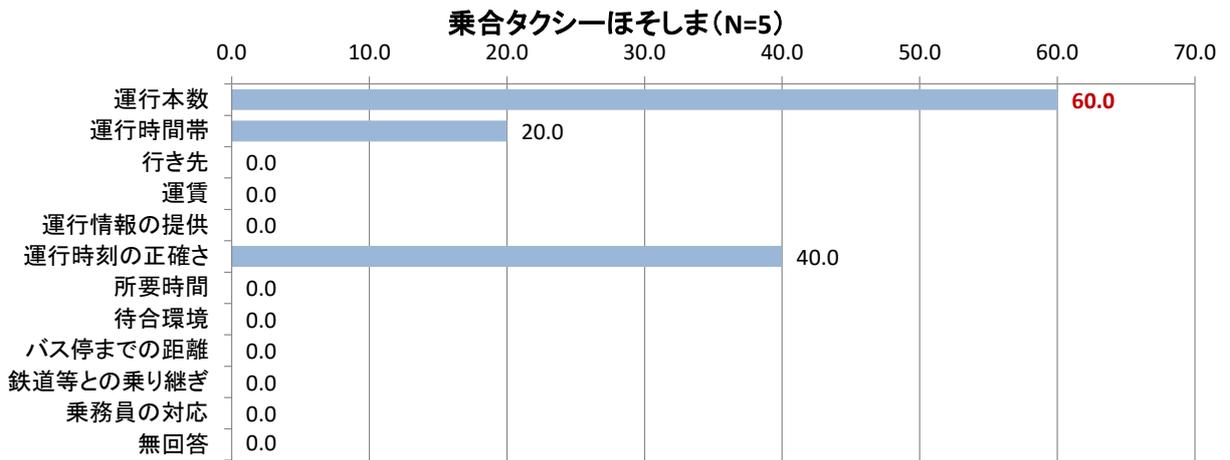
■利用頻度



■ 満足度



■ 要望



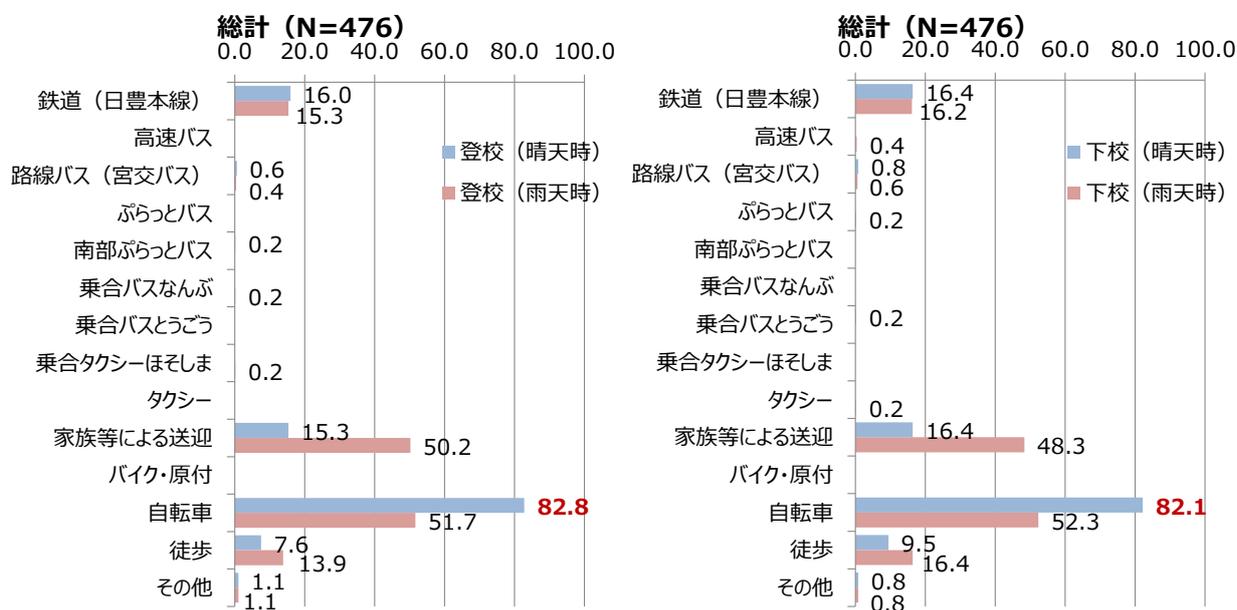
(3) 高校生アンケート調査

対象者	・日向高校、富島高校、日向工業高校に通う学生
主な調査項目	・利用者属性（性別、居住地）、通学実態（交通手段、通学時間（部活時含む））、家族等による送迎の負担状況 ・路線バス等公共交通の利用有無と満足度（ルート、ダイヤ、運賃等） ・公共交通を利用しない理由、利用するための条件 ・晴天時、雨天時における利用交通手段
調査方法	・学校に直接協力を依頼し、配布・回収（Web 併用）
調査期間	・令和4（2022）年9月28日（水）
回答数	N=476（日向高校 221、富島高校 158、日向工業高校 97）

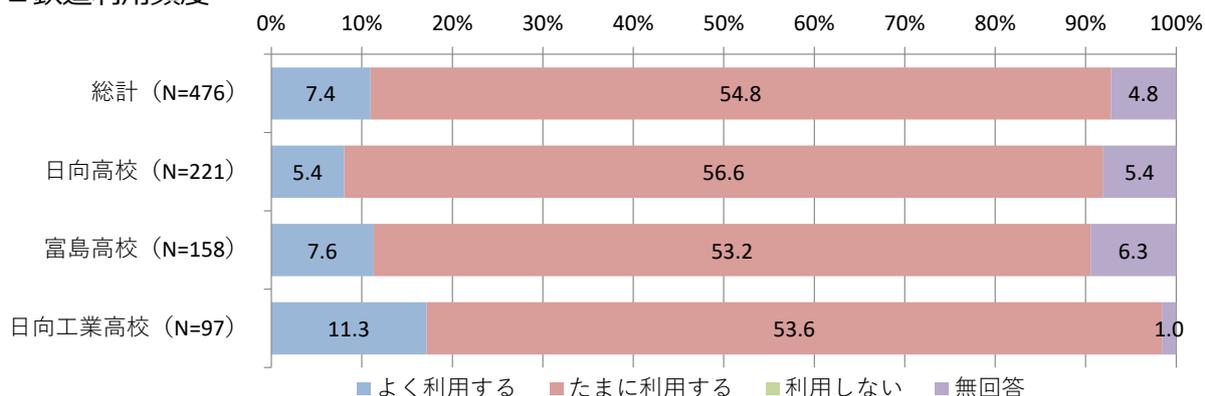
① 利用特性

- 登下校時の交通手段では「自転車」「鉄道」の割合が多くなっているが、雨天時になると「家族等による送迎」へ転換しており、送迎の負担が課題として見受けられ、バス交通を利用する学生はほぼいない。
- 鉄道は多くの学生が利用しており、さらなる利用促進策としては「運行本数の増便」「定期券以外の中高生向け割引切符販売」「駅構内や駅近くの商業施設、カフェなどの充実」が主に挙げられている。
- バスを利用しない理由としては、「バイクや自転車、徒歩で移動しているから」が大半を占めているが、「利用方法がわからない」といった声も若干数挙げられており、改善が必要である。
- 不満点が改善された場合の利用意向では約 2 割の学生で転換可能性が示唆されており、今後の利用促進策としては、「わかりやすい運賃制度」が多く挙げられている。

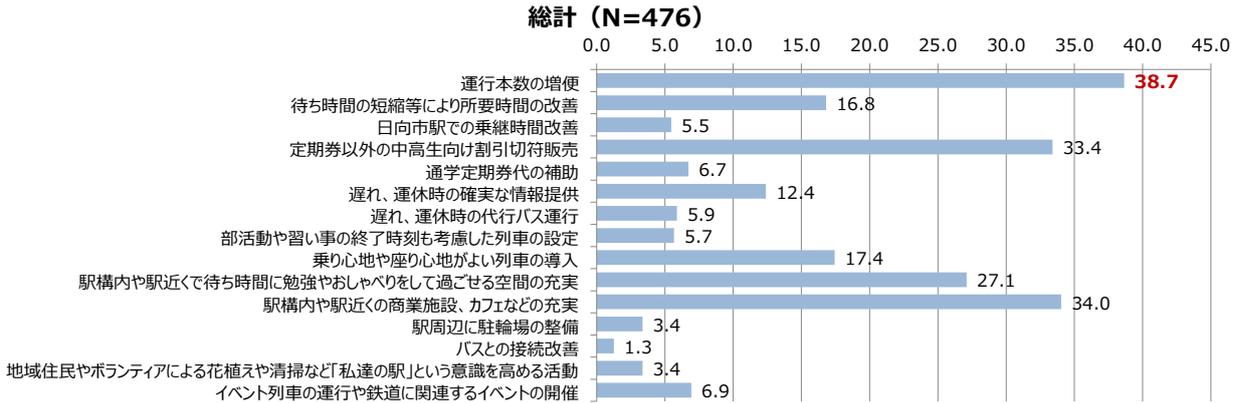
■ 登下校時の交通手段



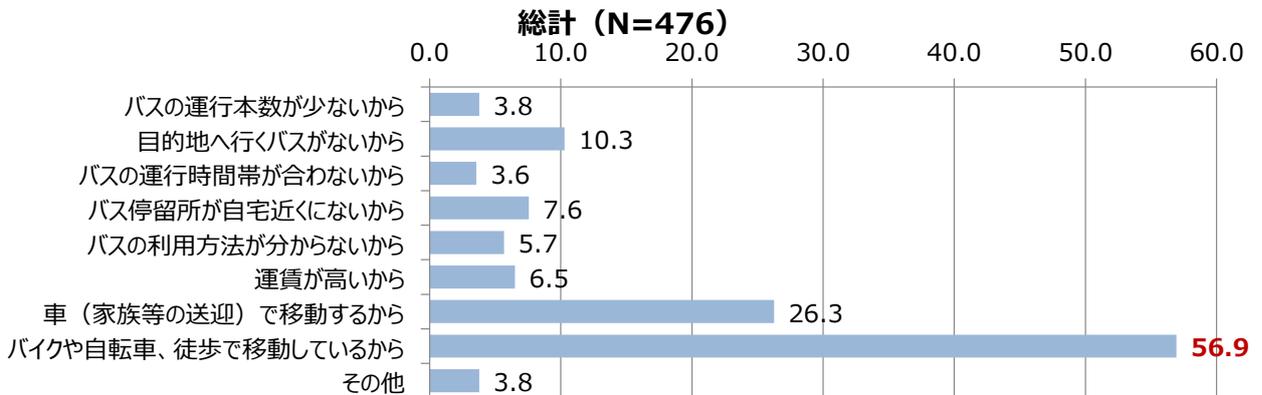
■ 鉄道利用頻度



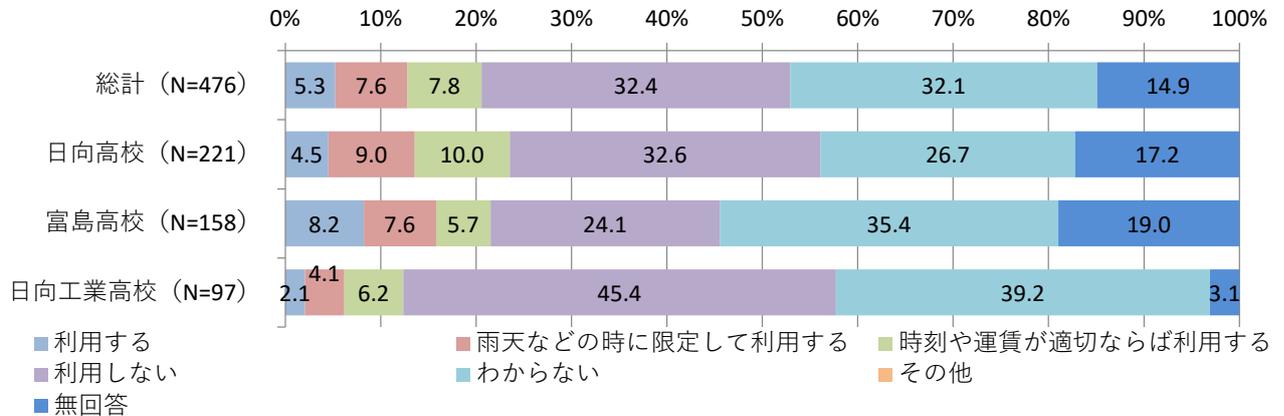
■ 鉄道の利用促進策



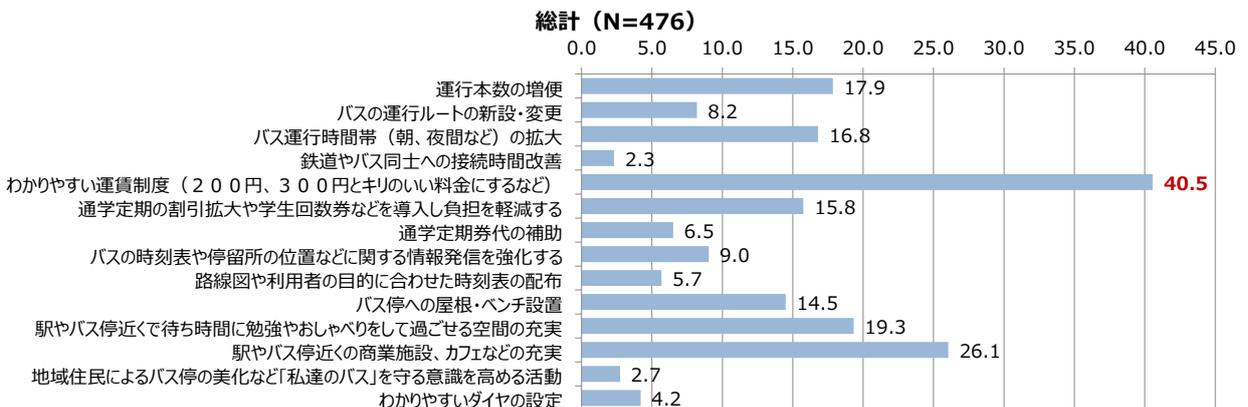
■ バスを利用しない理由



■ バス利用意向



■ バスの利用促進策



(4) 交通事業者・関連事業者アンケート調査

対象者	«交通事業者» <table border="1"> <tr> <td>鉄道</td> <td>九州旅客鉄道(株)</td> </tr> <tr> <td>高速バス</td> <td>ハッコートラベル(株)</td> </tr> <tr> <td>路線バス</td> <td>宮崎交通(株)</td> </tr> <tr> <td>市民バス</td> <td>上日向自動車(株)、宮交タクシー(株)、(有)柳田タクシー (有)HIMAWARI、宮児タクシー(株)</td> </tr> <tr> <td>タクシー</td> <td>日向交通協同組合、宮交タクシー(株)、(有)柳田タクシー、(有) HIMAWARI、宮児タクシー(株)</td> </tr> </table>		鉄道	九州旅客鉄道(株)	高速バス	ハッコートラベル(株)	路線バス	宮崎交通(株)	市民バス	上日向自動車(株)、宮交タクシー(株)、(有)柳田タクシー (有)HIMAWARI、宮児タクシー(株)	タクシー	日向交通協同組合、宮交タクシー(株)、(有)柳田タクシー、(有) HIMAWARI、宮児タクシー(株)	
	鉄道	九州旅客鉄道(株)											
高速バス	ハッコートラベル(株)												
路線バス	宮崎交通(株)												
市民バス	上日向自動車(株)、宮交タクシー(株)、(有)柳田タクシー (有)HIMAWARI、宮児タクシー(株)												
タクシー	日向交通協同組合、宮交タクシー(株)、(有)柳田タクシー、(有) HIMAWARI、宮児タクシー(株)												
«関連事業者» <table border="1"> <tr> <td>社会福祉団体</td> <td>日向市社会福祉協議会 日向市社会福祉協議会東郷支所</td> </tr> <tr> <td>商工団体</td> <td>日向商工会議所、東郷町商工会</td> </tr> <tr> <td>障がい者団体</td> <td>日向市障害者団体連絡協議会</td> </tr> <tr> <td>観光団体</td> <td>日向市観光協会</td> </tr> <tr> <td>商業施設</td> <td>(株)マルイチ</td> </tr> <tr> <td>医療機関</td> <td>千代田病院、和田病院、三股病院</td> </tr> </table>		社会福祉団体	日向市社会福祉協議会 日向市社会福祉協議会東郷支所	商工団体	日向商工会議所、東郷町商工会	障がい者団体	日向市障害者団体連絡協議会	観光団体	日向市観光協会	商業施設	(株)マルイチ	医療機関	千代田病院、和田病院、三股病院
社会福祉団体	日向市社会福祉協議会 日向市社会福祉協議会東郷支所												
商工団体	日向商工会議所、東郷町商工会												
障がい者団体	日向市障害者団体連絡協議会												
観光団体	日向市観光協会												
商業施設	(株)マルイチ												
医療機関	千代田病院、和田病院、三股病院												
調査方法	・事前に調査票を送付し、郵送回収 (交通事業者のみ後日直接ヒアリングを実施)												
主な 調査項目	交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の特性や運行上の問題点、利用促進策 ・利用者等から寄せられている声 ・走行環境における問題点 ・経営改善のために行われていること ・他の交通事業者との連携に関して求めたいこと ・市の施策や計画に提言・期待したいこと 											
	関連事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・無料送迎等の施設利用者のサービス向上に向けた取組状況 ・観光や商業等まちづくりを取り巻く現状、問題点 ・障がい者支援、子育て支援、高齢者等移動支援サービスの実態 ・買い物支援、移動販売等の実態・拡大の可能性 ・公共交通と協力・連携した取組や事業の可能性 ・市の施策や計画に提言・期待したいこと 											
調査期間	・令和4(2022)年年9月27日(火)～10月21日(金) (交通事業者ヒアリングは今後実施)												

①交通事業者

事業者	内容
鉄道事業者	<p>○近年の利用者層や動向の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リモートワークの普及等ワークスタイルの変化 ・交流人口・移動人口の一定程度の回復 <p>○運営上や経営上の問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少及び中心都市と過疎地域の人口格差拡大 <p>○利用促進・利便性向上・経営改善等のためにやっていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お買い物切符の造成として、アミュプラザ宮崎との連携事業 <p>○利用者等から寄せられている声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、午前 7 時ごろに南延岡駅に到着する電車は特急だが、同じ時間に南延岡駅に到着する普通列車を運行してほしいと延岡高校から意見をいただいている。 <p>○他の交通事業者との連携に関して求めたいこと、協力できること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MaaS を活用した地域輸送サービスにおける連携事業 <p>○市の施策や計画に提言・期待することや行政と協働で実施したいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日向市駅前広場整備等を実施していただき、歩行者や自転車の往来が増え、賑わいの構築ができた。
高速バス事業者	<p>○利用者の特性や傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日休日とも高齢者の利用が多く、観光利用は少ない。平日は会社員、休日は若年層の利用も見られる。 <p>○近年の利用者層や動向の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者は 8～9 割の減少となっている。 <p>○利用者等から寄せられている声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行本数の増便要請や熊本方面への路線の問い合わせ等がある。 <p>○市の施策や計画に提言・期待することや行政と協働で実施したいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、大変苦しい経営状況であるためできる限りの補助をしていただきたい。
路線バス事業者	<p>○利用者の特性や傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日は早朝と夕方に通勤・通学利用と、午前中の高齢者の利用が主である。休日は全体的に利用が少ない状況である。 <p>○近年の利用者層や動向の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍も落ち着いてきてはいるが、以前の 7～8 割程度しか利用者は戻っていない。 <p>○運営上や経営上の問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗務員は恒常的に不足しており、車両についても更新が進んでいない。 ・日向地域も例外ではなく、乗務員が不足しているため、新しい取り組み等にチャレンジしづらい状況である。 <p>○利用促進・利便性向上・経営改善等のためにやっていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一日乗り放題券の販売。 ・車両の小型化（マイクロバス）による効率的な運行を検討。また、宮崎県と協働で県内全域で取り組む利用促進策について検討中。 <p>○他の交通事業者との連携に関して求めたいこと、協力できること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日向市駅を中心に鉄道、路線バス、市民バスが結節できるようなバスの時刻設定を行うため、鉄道や市民バスの時刻改正等がある場合は事前に情報を共有いただきたい。 <p>○市の施策や計画に提言・期待することや行政と協働で実施したいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合公共交通マップの作成。

事業者	内容
市民バス事業者	<p>○利用者の特性や傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日休日ともに通院・買い物目的の利用が多い。 ・平日は通勤・通学の利用も見られ、休日は買い物利用が主である。 ・休日にサーフィン客や外国人の利用がみられる。 ・午後の便は利用者が極端に少なくなる。(乗合バスとうごう) <p>○近年の利用者層や動向の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオンを中心とした高齢者の買い物など利用者が増加している。 ・免許返納に伴う利用者の増加がみられる。 ・定期券の利用が多くなった。 ・東郷地区においては高齢化が顕著であり、施設等に入所する方も多く減少傾向にある。 <p>○運営上や経営上の問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗務員の高齢化や人員の確保が困難である。 ・車両の故障が多い。 ・インターバルが約 5 分程度であり、乗車人員の確認・日報記載など時間が足りず遅延に至っている。 ・運行遅延が発生する便があり、発車時刻に間に合わない便がある。 ・停留所標の劣化、色あせ、剥がれ等が多くみられる。(特に乗合バスなんぶ) ・新規路線の車内案内音声と運賃表示を至急お願いしたい。(対応中) <p>○走行環境における問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリー区間のお客様で上り下り車線で待っており、停車・発進に支障をきたしている。 ・狭い道路で危険な箇所が存在している。(橋元～立縫の里間等) ・枯れた竹等がいつまでもしなだれている箇所があり、危険が高い。 <p>○利用促進・利便性向上・経営改善等のために行っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>○利用者等から寄せられている声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行便数の増加。 ・時間の遅れが多いとの意見をいただくが、運行スケジュール的に厳しい。 ・振動が多く乗り心地が悪い。 ・時刻表が複雑でわかりづらいといった指摘を受ける。 <p>○他の交通事業者との連携に関して求めたいこと、協力できること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地へ通院する方も多く、道の駅とうごうで乗り換えが十分行われている認識であるため、現状のままでもいいと考える。 <p>○市の施策や計画に提言・期待することや行政と協働で実施したいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス車両の点検・整備等をきめ細かく実施し、安心して運行できることを期待する。 ・現場側とのコミュニケーションを図ってほしい。

事業者	内容
タクシー事業者	<p>○近年の利用者層や動向の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で大幅にタクシー利用客が減少したが、昼間の利用者は増加の傾向にある。また、一人暮らしの高齢者の利用が多くなっている。 ・市民の外出回数も減り、特に夜間の利用が減少している。 ・若年層の繁華街への利用が少なくなった。 <p>○利用者等から寄せられている声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用したいときにタクシーが捕まらない回数が多くなったといわれる。 ・配車に時間がかかる。 <p>○運営上や経営上の問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料代の高騰、慢性的な運転手の不足・高齢化 ・営業車の保険料が毎年上がっている。また、車両の更新が厳しい状況である。 <p>○利用促進・利便性向上・経営改善等のためにやっていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心・迅速・24 時間対応。無事故に勝る信用なし。 ・フードデリバリー事業の実施を計画している。 <p>○市の施策や計画に提言・期待することや行政と協働で実施したいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各社、障がい者・免許返納者に対し 1 割補助を実施し、高齢者・買い物弱者に対し、利用促進を図っている。 ・なかなか改善策が見つからない状況である。 ・利用者の利便性向上と同時に、運転手（働く側）にも配慮した運行計画等に期待したい。 ・高齢者へのタクシー料金の一部負担及び事業者への支援。 ・タクシー乗務員の第二種免許取得への支援。

②関連事業者

事業者	内容
社会福祉団体	<p>○高齢者や障がい者などから、公共交通について寄せられている声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅からバス停までの距離が遠く、利用が難しい。 ・行きたい場所はあるが、バスの時間と合わない（行きは良いが、帰りに合わない）。 ・首都圏に住む子供から、日向市の山間部に住む高齢一人暮らしの親を心配する相談もあった。（日向市では高齢者の免許返納で、市民バスに関して割引乗車券を交付しているが、山間部のため交通手段には使えなかったり、宮崎県でタクシー料金の1割引きは利用できるが、山間部まで利用したい時に必ずきてもらえるという保証がない。高齢者の現在の行動範囲を維持しながら、免許返納を提案することができる良い方法を考えてほしいというもの） ・市街地部への移動手段が少ない。路線バスの本数が少ない。 ・タクシーを利用したいが、回送料が加算されて割高になる。 ・今は運転が出来るので路線バスや市民バスの利用経験がない。免許返納後、自分の都合で買い物や通院が出来なくなる不安。 <p>○公共交通と連携して取り組めること、連携すべきと考えられること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、日向市内の6つの福祉事業所と連携して『日向市相乗りお買い物ツアー』事業を実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大等、状況によっては実施できないことが課題となっている。路線バス、市民バス等についてもご協力をいただくと、安定した事業の実施が望めるものとする。 ・高齢者の集いの場（百歳体操・サロン）での公共交通の利用説明会。悠々バスの案内等の調整。 ・公共交通の体験会を企画。自宅からバス停までの移動手段の確保。移動支援サービス東郷かんむりの周知と連携。ワンコインサービスのボランティアの活用 <p>○日向市の公共交通について意見や要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近距離の移動について、予め日程と一定数の利用者が把握できている場合、タクシーを相乗りで利用する（介護予防として、タクシーの事業所に補助金が交付される）等、既存の公共交通を活かした取組について検討していただければと思う。 ・利用する側が、自分の生活スタイルに合うものを選べる仕組みづくりを提案していく。 ・免許返納後の移動手段に対して、公共交通の利用方法や悠々バスを地域住民にPRすることで、高齢者の移動に対する不安が軽減できるのではないかと。
商工団体	<p>○商業を取り巻く現状や新型コロナウイルスの影響などの観点からの問題・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食業には少しずつお客様が戻ってきているが、それに伴い人手不足が深刻な問題となりつつある。 ・ウクライナ情勢に端を発する、原材料価格や物価の高騰により事業者の経営はますます厳しさを増している。 ・生活様式や消費行動の変化にいかに対応していくかが課題 <p>○来訪者や商業施設などから、日向市の公共交通に関して寄せられている声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日向市駅から東郷地域の主要施設等を結ぶバスの整備を希望されている。 ・日向市方面から東郷地域にバスで来て用事を済ませた後、帰りのバスが来るまで長時間待たないといけない。 <p>○日向市の公共交通について意見や要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日向市駅から市内各地を結ぶ、ぷらっとバスの維持・拡張を強く要望する。 ・利用者の多い主要施設（東郷診療所、道の駅、やまさ、牧水関連施設等）を結ぶ公共交通の整備を希望

事業者	内容
障がい者団体	<p>○高齢者や障がい者などから、公共交通について寄せられている声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の会議・研修会・各種イベント等は、日曜日の午前 10 時開会のものが多いため、南部ぶらっとバス等について 10 時に市街地部へ到着するバスがほしい。 ・一般タクシーの夜間・早朝の台数が少ない。 ・路線バスの停留所を増やしてほしい。 ・障がい者にとって乗り換えは非常に大変。 ・市民バスでの通院は場所や時間が合わないケースが多く、タクシーを利用すると往復運賃が高額となる。 <p>○公共交通と連携して取り組めること、連携すべきと考えられること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者団体の総会や定例会等で説明の機会を設ける。 ・障がい者センターでの公共交通について案内、利用促進パンフの配布、啓発等。 <p>○日向市の公共交通について意見や要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日向市駅等で、バスの運行状況や遅延状況がわかるバスロケーションシステムを導入してほしい。 ・障がい者の利用促進を図るために高齢者と同様に総会等の際に無料体験チケットの配布や利用案内などを積極的に検討してほしい。 ・腰掛けタイプの一般タクシーがあると乗降しやすい。
観光団体	<p>○観光客の来訪特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日の案内所利用が比較的多いのは、60～70 代の九州外在住者、20～30 代の外国人観光客となっている。結果、日帰り旅行よりも宿泊を伴う旅行で来所する方が多い傾向。特に外国人観光客は長期旅行の一部で日向市に訪れている。 ・休日の案内所利用が比較的多いのは、60～70 代の県内在住者や同年代の九州在住の観光客となっている。結果、居住地が近い方が多く訪れていることもあり、日帰り旅行者が多い。 ・観光客の居住地に関わらず、10 月の来所が多い状況。特に県内からの観光客については旅行シーズンの偏りが大きく、年間で来所する県内客の 28%が 10 月に集中していることが分かっている。 <p>○観光を取り巻く現状や新型コロナウイルスの影響などの観点からの問題・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、コロナ禍により観光案内所を訪問する観光客が激減している。特にインバウンドについてはほとんど対応する機会がなく、アフターコロナにおけるインバウンド増加を見据えた案内情報の更新や観光商品の充実化が課題となっている。 ・観光客以外からのぶらっとバスや宮交バスに関する公共交通の対応が相変わらず多い状況。宮崎交通については業務委託を受け収益事業として対応している。 <p>○公共交通との連携・協力した取組や可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎交通と業務委託契約を結び、一日乗車券と観光施設で使えるクーポンが一体となった「県北周遊バスパック」を取り扱っている。 <p>○日向市の公共交通に関して寄せられている声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便数の少なさ等観光客から指摘されることもあるが、代替交通手段として観光タクシーやレンタサイクル等を案内している状況。 ・日向市民からは窓口だと思って苦情が寄せられることが多く、内容としては「時刻表の見方」、「運行・接客への不満」が大部分を占めている。 <p>○日向市の公共交通について意見や要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客をターゲットにした交通手段の開発も必要。 ・両替機を設置することも利便性の向上につながると考えられる。

事業者	内容
商業施設	<p>○利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火・木・日の利用客が多く、水曜日は少ない状況である。 <p>○送迎サービスの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点では施設利用者の移動支援サービスは実施していない。 <p>○日向市の公共交通について意見や要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぷらっとバスは見る限り乗客数があまりにも少ないのもっと活用しないと非常にもったいない。 ・バスのカラーリングをどこかと提携する。（アニメ・商品広告※サンプルもらえるなどキッカケづくり・擬人化） ・決済に楽天 Edy を使用する。（マルイチカード：郵便番号 883 から始まる世帯で 22,000 人が所有） ・農産物なども荷受荷下ろしできる仕組み。貨客混載。（他地域でも実績あり） ・幼稚園・保育園との連携（送迎バス・お年寄りと子どもがふれ合える・学生の通学にも使える） ・位置情報通知システムの導入（待たなくて良いバス停） ・全バス停を停まると時間がかかりすぎるので、主要なバス停だけ停まる特急路線（朝夕などの時間帯）
医療施設	<p>○利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に平日の午前中に患者さんが多く、休日は少ない状況である。 <p>○送迎サービスの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三股病院では無料でルートと時刻を定めた送迎サービスを実施している。 ・月・火で東郷方面、火・水で平岩方面、火曜日で幸脇・飯谷方面の送迎をしている。